

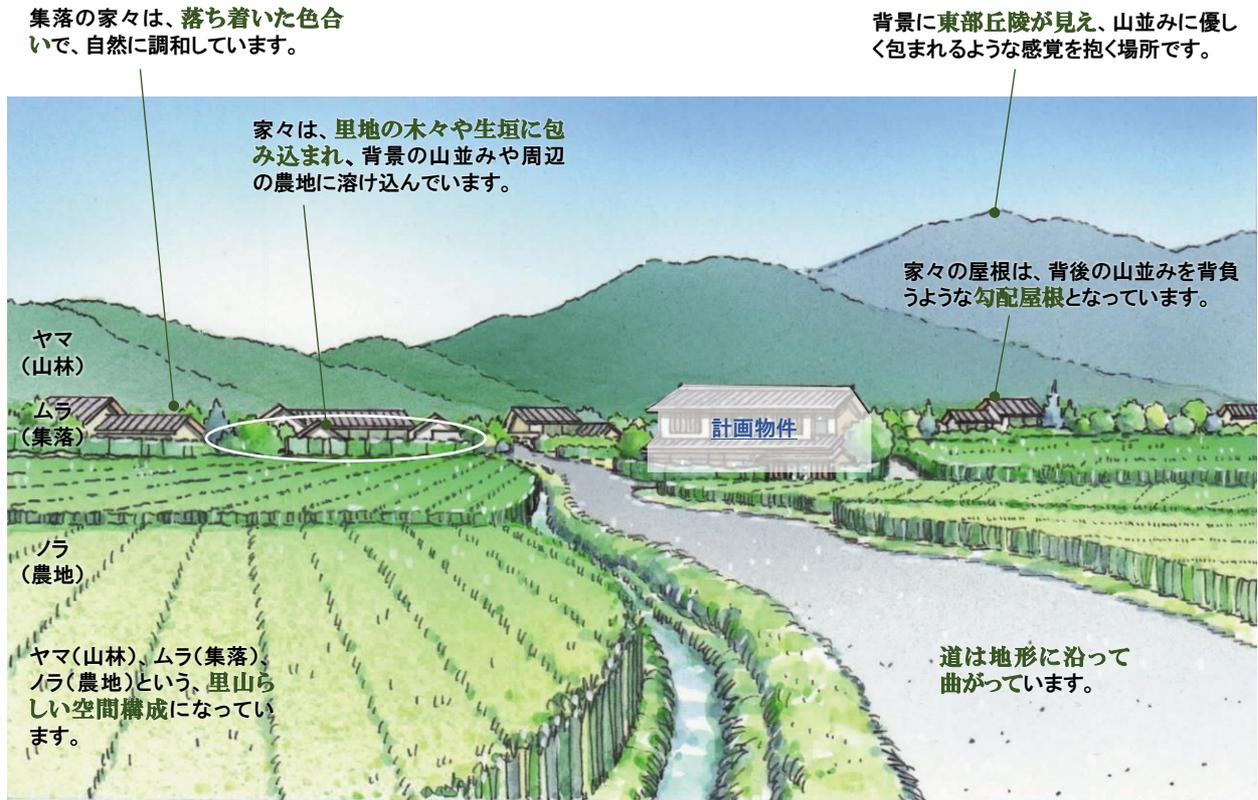
## 第3章

### デザインの進め方の例

# 1. 東部丘陵里山エリア —集会施設の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。



### 地域の景観の特徴の整理

- ・「東部丘陵の山並み」は美しい尾根を見せ、集落の背景になっています。この場所では、山林、集落、農地といった「**里山の空間構成**」が継承されています。
- ・里地の木々や生垣は、家々を「**包み込む緑**」となって、落ち着いた暮らしの景観を生み出しています。
- ・里地にはゆるやかな高低差があり、地形に沿って「**曲がりくねる道**」が通り、家々の敷地は道とゆるやかにつながっています。
- ・集落には、「**穏やかな屋根**」と「**落ち着いた色合い**」の家々が集まり、背景の里山や周辺の農地に溶け込んでいます。

### エリア内で見られる調和色

外壁

5YR7/2 10YR7/2 2.5Y7/2

5YR6/3 10YR5/3 2.5Y5/2

5YR4/2 10YR 4/2.5 2.5Y 4/2.5

屋根

2.5YR 5/1 7.5YR 5/1 5Y 5/0.5

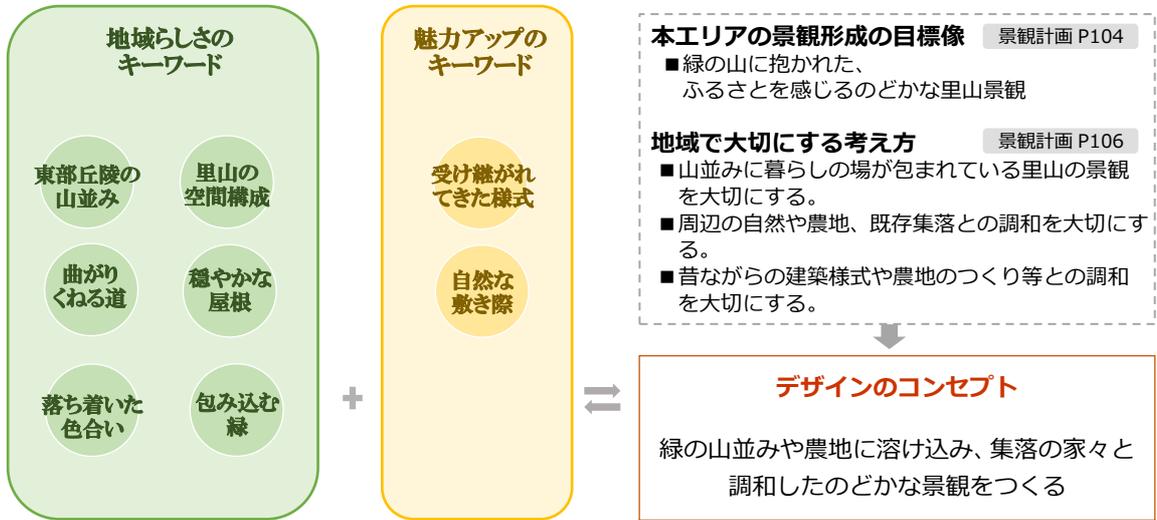
10R 3/1 7.5YR 3/1 5Y4/0.5

10R 2/1 7.5YR 2/1 N2

※景観計画(P175)では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

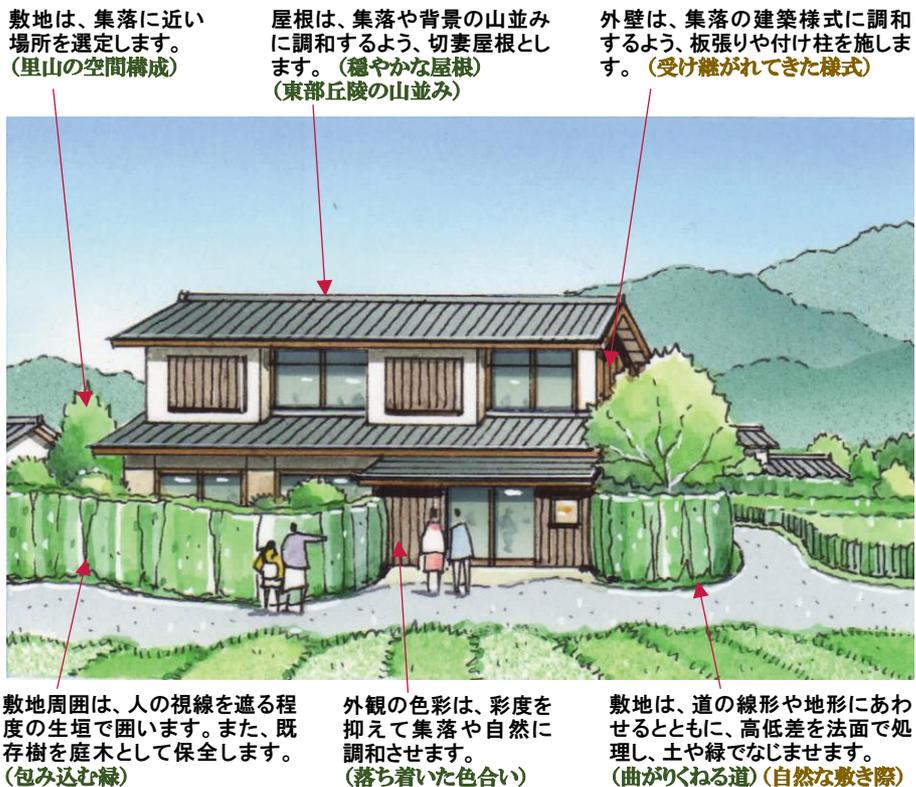
## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

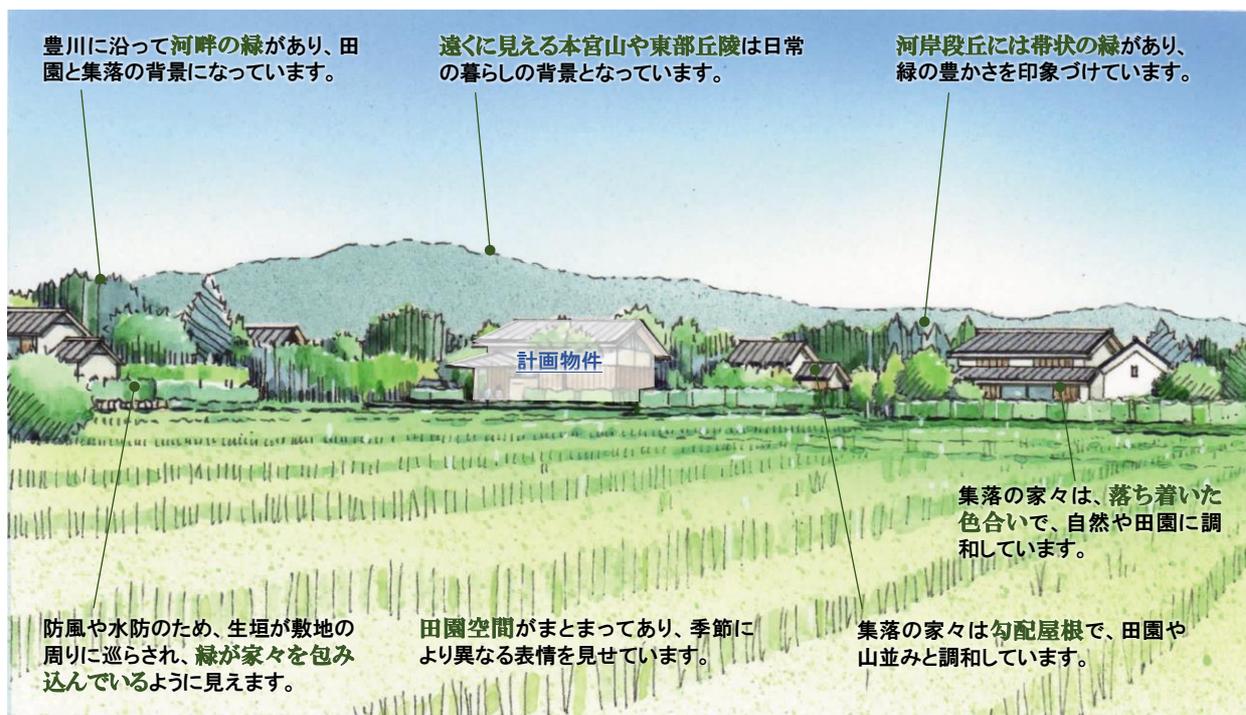


※景観計画において、景観形成基準を定めています(P106~107)。適合しているかどうかを確認してください。

## 2. 豊川沿川田園エリア —集会施設の例—

### 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。



#### 地域の景観の特徴の整理

- ・ゆったり蛇行する豊川に沿って「のびやかな田園」が広がり、水田や柿畑のなかに集落の家々が点在しています。
- ・見渡すと「河畔の緑」や河岸段丘の「斜面緑地」が、集落のある田園地帯を取り巻いています。
- ・その背後には、東部丘陵や本宮山などの「遠くの山並み」がうっすらと見え、人々の暮らしに安らぎをもたらしています。
- ・集落の家々は、防風や水防のための生垣と屋敷林で囲まれ、そうした「包み込む緑」から、「穏やかな屋根」と「落ち着いた色合い」の家々が見え隠れしています。

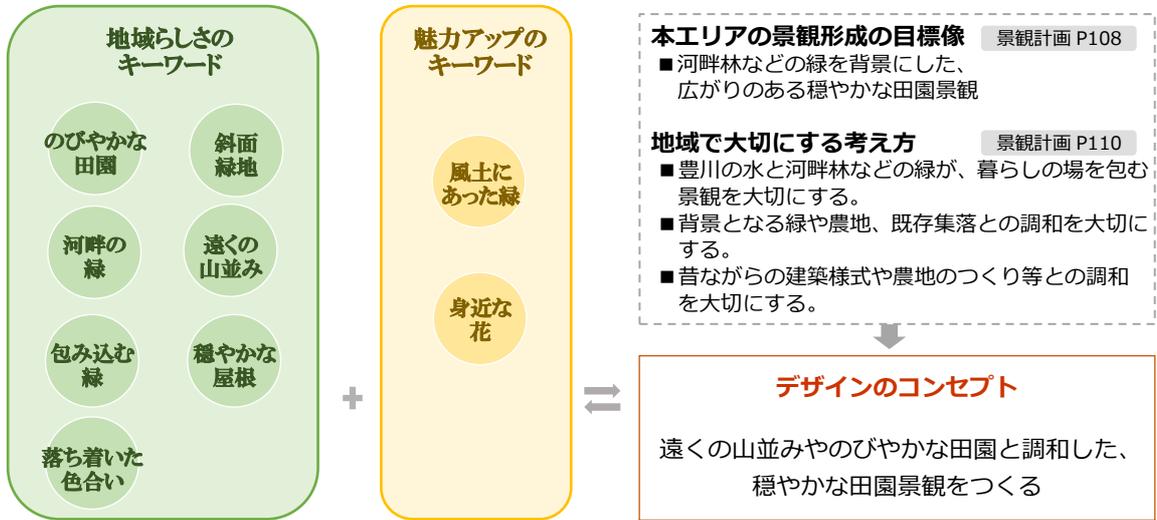
#### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR7.5/1	10YR 7.5/1	2.5Y7.5/1
	5YR6/3	10YR6/3	2.5Y6/2
	5YR5/2	10YR 5/2.5	2.5Y 5/2.5
屋根	2.5YR 5/1	7.5YR 5/1	5Y 5/0.5
	10R 3/1	7.5YR 3/1	5Y4/0.5
	10R 2/1	7.5YR 2/1	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。

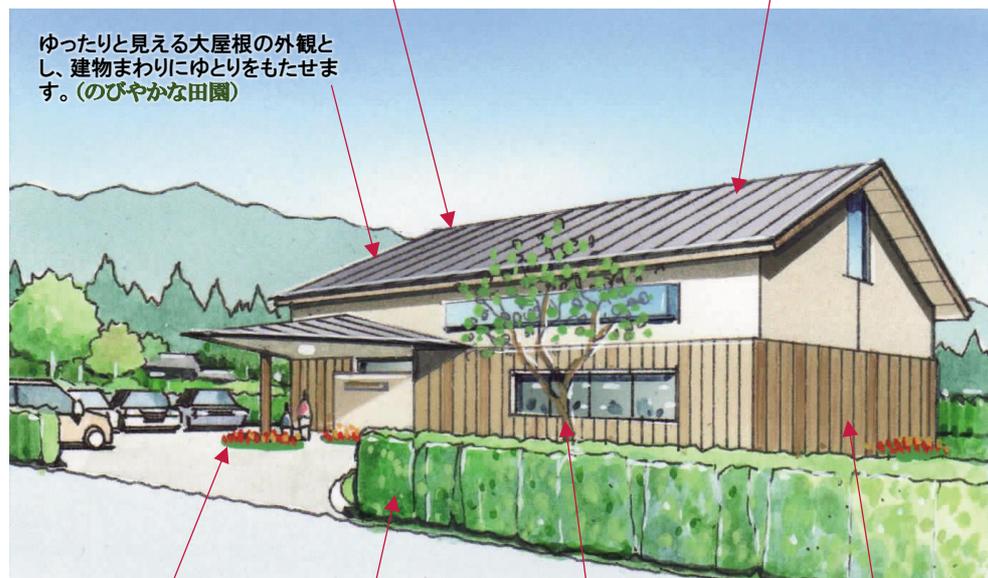


## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

遠くの山並みと調和し、斜面緑地や河畔の緑から突出しないように、高さを抑えます。  
(斜面緑地)(河畔の緑)(遠くの山並み)

屋根は集落や遠くの山並みと調和するよう、勾配屋根とします。  
(穏やかな屋根)(遠くの山並み)



ゆったりと見える大屋根の外観とし、建物まわりにゆとりをもたせます。  
(のびやかな田園)

目に留まりやすい場の、手の届くような位置に、花を植えます。  
(身近な花)

敷地周囲を生垣で囲むとともに、敷地内に中高木を植えます。  
(包み込む緑)

周辺の自然と調和するよう風土にあった木を植えます。  
(斜面緑地)(河畔の緑)(風土にあった緑)

外壁は、集落や自然と調和する質感とし、彩度を抑えたYR～Y系の色彩とします。  
(落ち着いた色合い)

※景観計画において、景観形成基準を定めています(P110～111)。適合しているかどうかを確認してください。

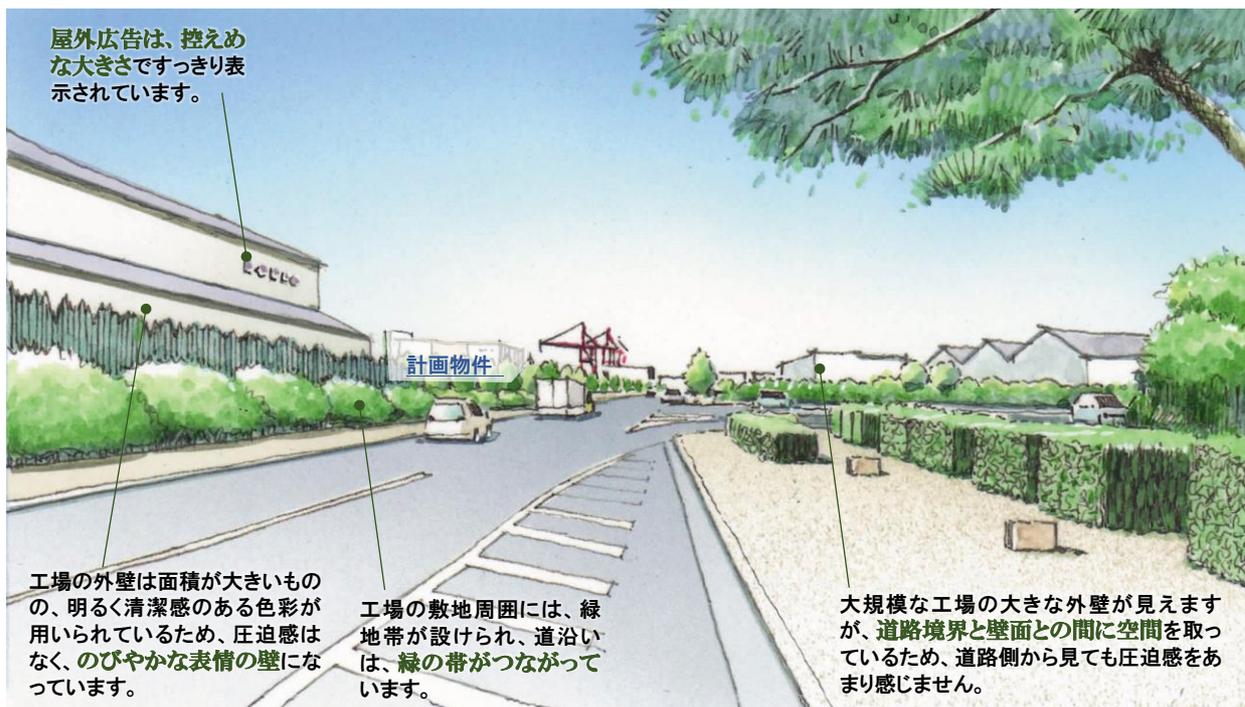
# 3. 三河湾沿岸工業エリア 一大規模工場の例一

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくらうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

三河湾に面して、大規模な工場が立地する広大な埋立地が広がり、大きな空が海につながっています。

近くには二枚貝が生息する六条潟や、全国有数の渡り鳥の飛来地である汐川干潟があります。また三河湾は、スナメリが生息し、多様な生物が生きる生態系豊かな場所です。



屋外広告は、控えめな大きさですっきり表示されています。

工場の外壁は面積が大きいものの、明るく清潔感のある色彩が用いられているため、圧迫感はなく、のびやかな表情の壁になっています。

工場の敷地周囲には、緑地帯が設けられ、道沿いは、緑の帯につながっています。

大規模な工場の大きな外壁が見えますが、道路境界と壁面との間に空間を取っているため、道路側から見ても圧迫感をあまり感じません。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・三河湾に面する広大な埋立て地に、大規模な工場や港湾施設が集まり、「海とつながる広い空」が印象的です。
- ・工場の敷地周囲には厚みのある緑地帯が設けられ、「つながる緑」が産業活動の影響を和らげるとともに、「豊かな干潟」のある三河湾との調和をもたらしています。
- ・工場の敷地はゆとりがあり、建築物は道路から後退し、「退いた壁」により圧迫感はあまり感じられません。
- ・緑地越しに見える外壁は、清潔感のある色彩の「のびやかな壁」で、「控えめな広告」のためすっきりとした印象です。

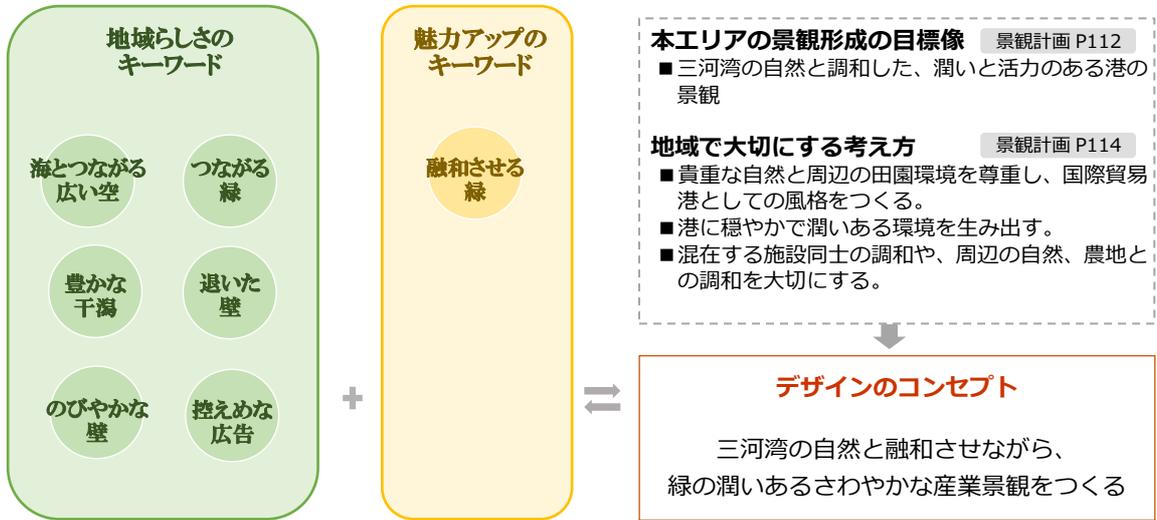
### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR 9/0.5	5Y9/1	N9
	5YR8/1	5Y8/2	N8
	5YR7/2	5Y7/2	N7

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

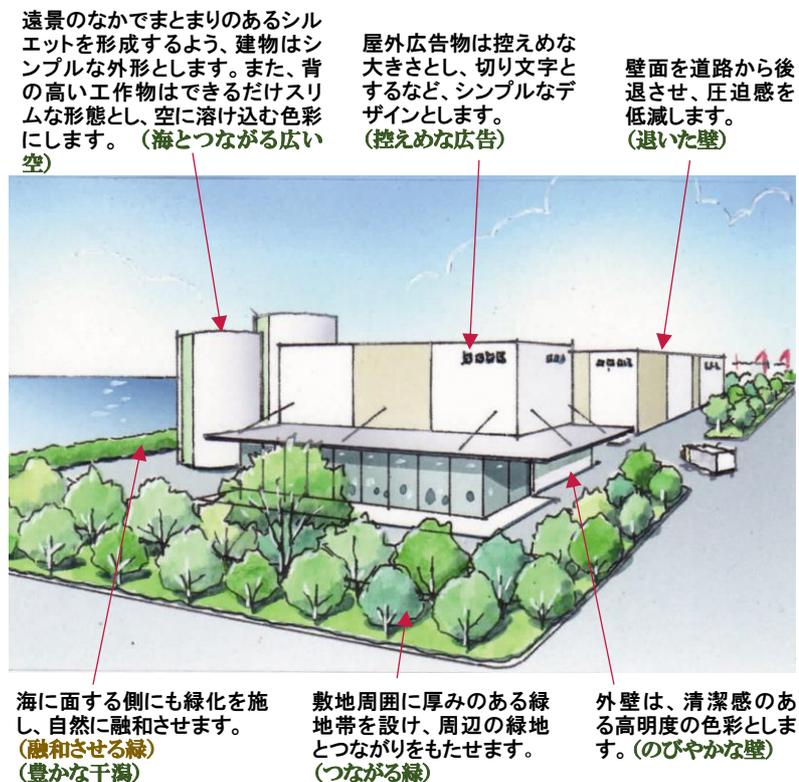
## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

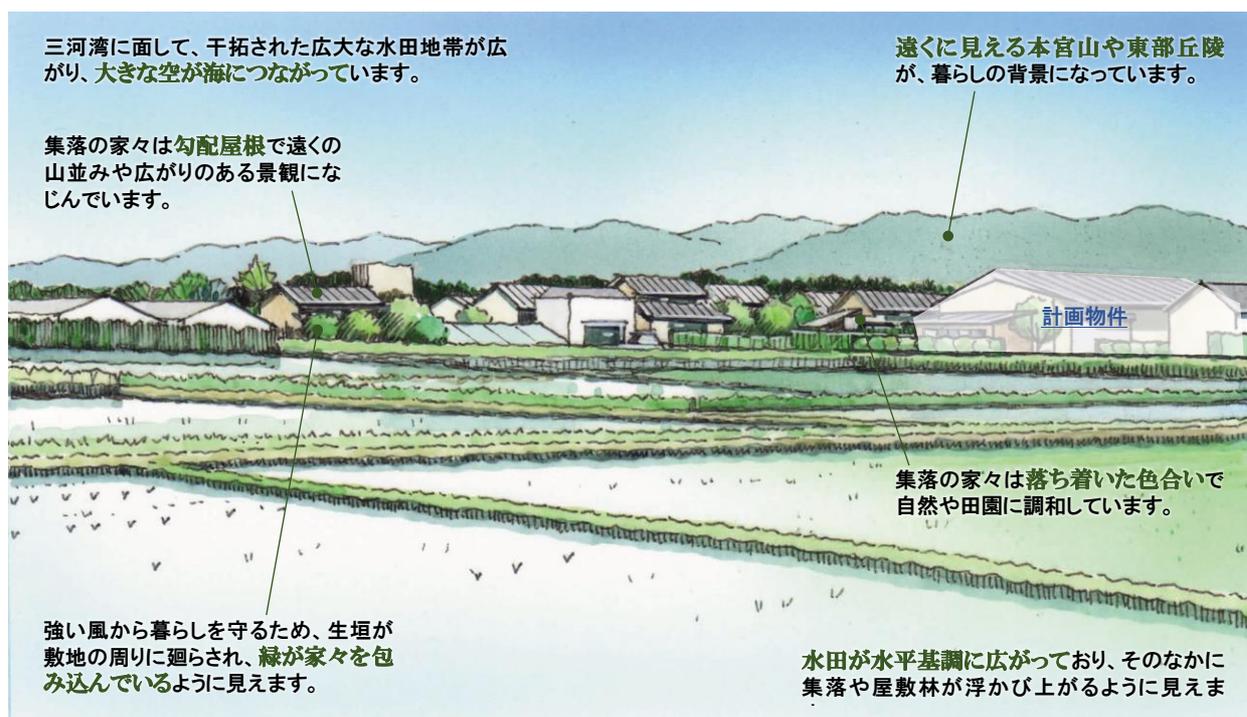


※景観計画において、景観形成基準を定めています (P114~115)。適合しているかどうかを確認してください。

## 4. 三河湾沿岸田園エリア 一倉庫・作業場の例一

### 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。



#### 地域の景観の特徴の整理

- ・三河湾に面する広大な干拓地に、水平基調の水田が広がり、「海とつながる広い空」が印象的です。
- ・「広がりのある水田」のなかには、集落や社寺林が点在し、その背景には、本官山や東部丘陵などの「遠くの山並み」がうっすらと見え、人々の暮らしに安らぎをもたらしています。
- ・集落の家々は生垣で囲まれ、そうした「包み込む緑」から、「穏やかな屋根」と「落ち着いた色合い」の家々が見え隠れしています。

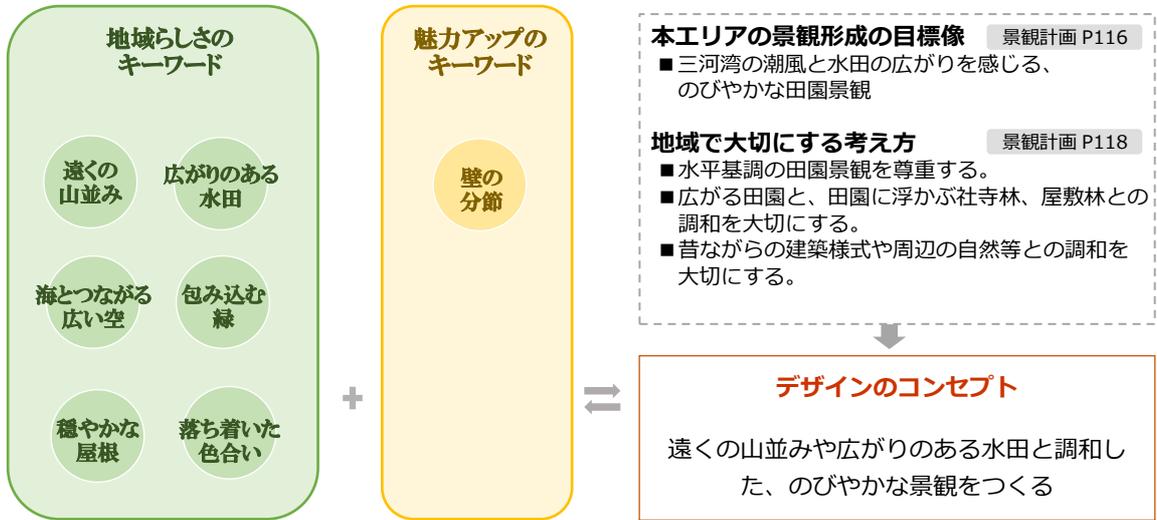
#### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR7.5/1	10YR 7.5/1	2.5Y7.5/1
	5YR6/3	10YR6/3	2.5Y6/2
	5YR5/2	10YR 5/2.5	2.5Y 5/2.5
屋根	2.5YR 5/1	7.5YR 5/1	5Y 5/0.5
	10R 3/1	7.5YR 3/1	5Y4/0.5
	10R 2/1	7.5YR 2/1	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。

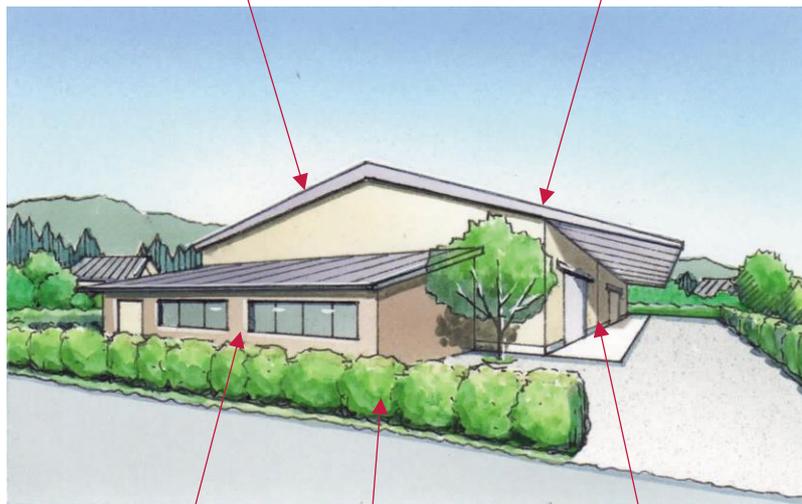


## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

屋根は、集落や遠くの山並みに調和する勾配屋根とし、灰色とします。  
(穏やかな屋根) (遠くの山並み)

建物の高さを抑えるとともに、屋根の傾斜をゆるやかにし、水平基調の田園景観に調和させます。  
(海とつながる広い空) (広がりのある水田)



外形の凹凸や色の塗り分けで視覚的な分節化を図り、集落の家々とスケール感を調和させます。  
(壁の分節)

敷地周囲は生垣で囲み、敷地内に中高木を植えることで、周辺景観に馴染ませます。  
(包み込む緑)

外壁は、集落や自然と調和する質感とし、彩度を抑えたYR~Y系の色彩とします。  
(落ち着いた色合い)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P118~119)。適合しているかどうかを確認してください。

# 5. 前芝湊周辺エリア —地域の公民館の例(前芝町)—

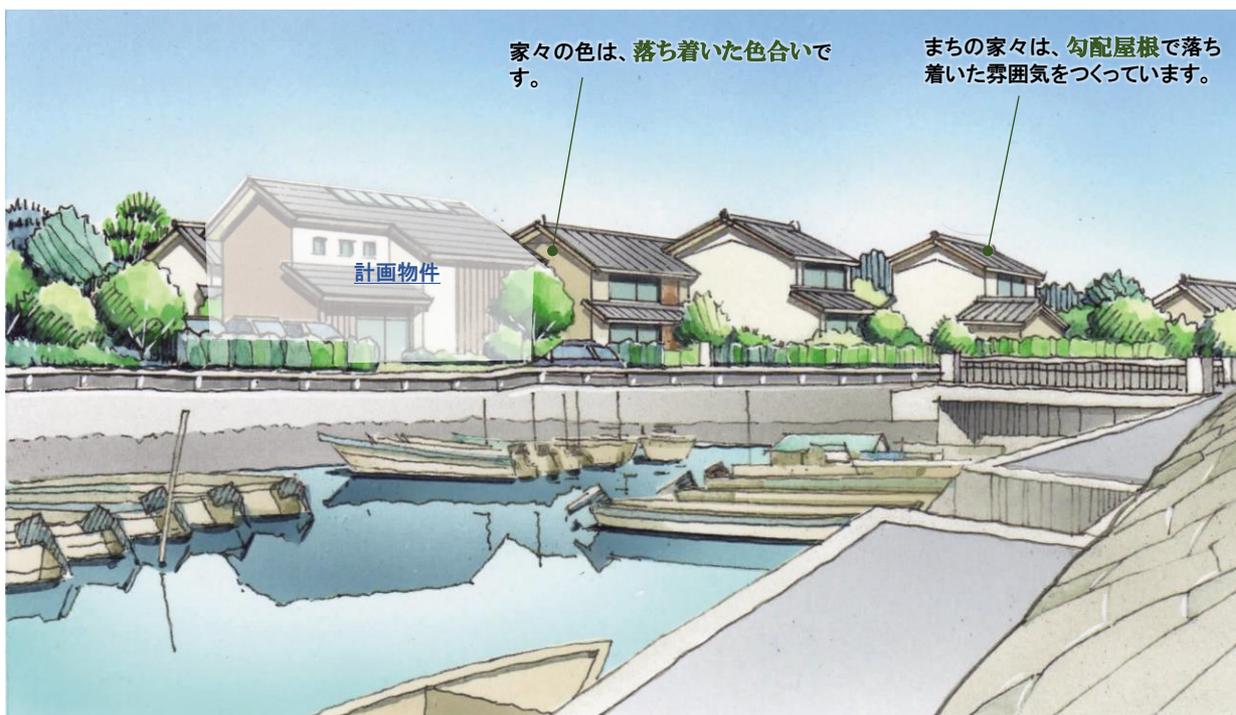
## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくらうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

湊町や漁村として、川や海と密接に関りながら暮らしが営まれてきたまちで、かつての面影が感じられます。

まち並みや道路が、人が心地よいと感じられるスケール感になっています。

まちなかには、入り組んだ路地が残っており、静かな暮らしの環境があります。



### 地域の景観の特徴の整理

- ・前芝湊は、江戸時代に物資や人々が往来する水運の拠点として大変賑わっていました。その後、昭和40年代初めまでは漁村として栄え、今でも「湊町と漁村の面影」を残しています。
- ・まちには、漁村特有の入り組んだ「静かな路地」が残っており、路地に沿って低層の家々が建ち並び、「人の尺度」でつくられた心地よい空間があります。
- ・昔ながらの家々は、木造瓦葺の切妻屋根で、「穏やかな屋根」は川に向かって傾斜し、「落ち着いた色合い」の外観が懐かしさを感じさせます。

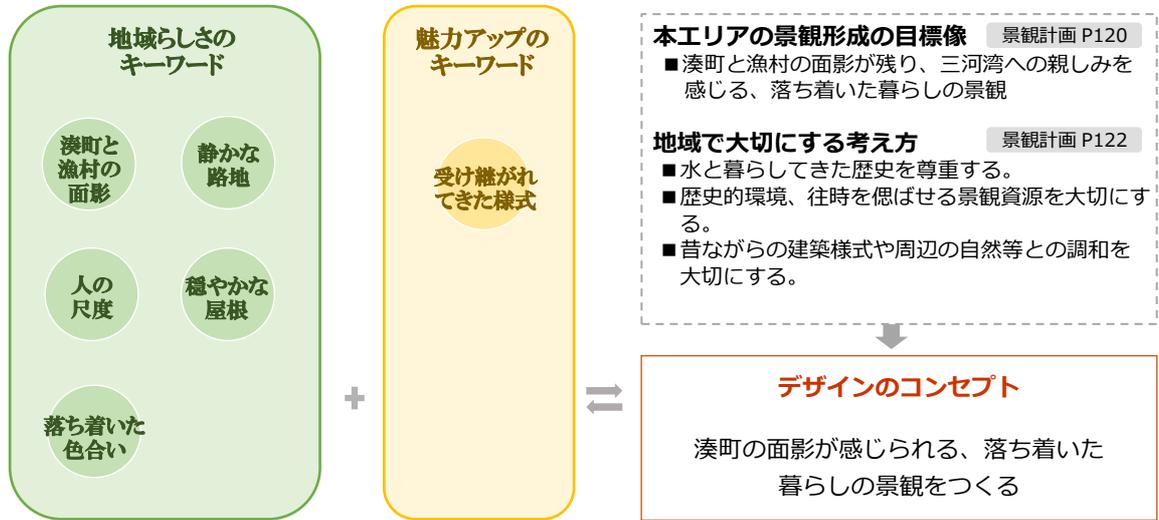
### エリア内で見られる調和色

	調和色		
外壁	5YR7.5/1	10YR 7.5/1	2.5Y7.5/1
	5YR6/3	10YR6/3	2.5Y6/2
	5YR4/2	10YR4/2	N2
屋根	10YR 5/1	2.5Y 5/1	5Y 5/0.5
	7.5YR 3/1	2.5Y 3/1	5Y4/0.5
	5YR 2/1	2.5Y 2/1	N2

※景観計画 (P175) では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。

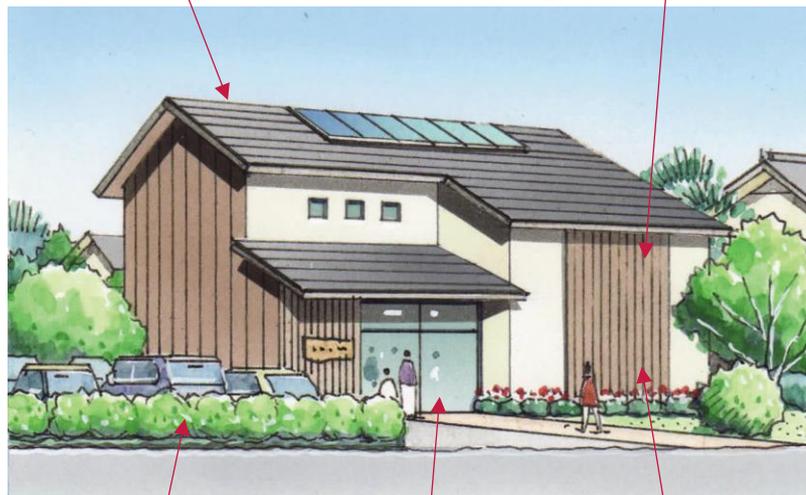


## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

周辺のまち並みに合わせて建物を配置します。屋根は、川に向けて傾斜する切妻屋根とし、軒の出を深くして、伝統的な様式に調和させます。  
(湊町と漁村の面影) (穏やかな屋根)  
(受け継がれてきた様式)

外観は、彩度を抑えた落ち着いた色彩とし、湊町の歴史ある環境になじませます。  
(湊町と漁村の面影)  
(落ち着いた色合い)



道沿いには生垣を設けて、落ち着いた環境を生みだします。  
(静かな路地) (人の尺度)

建築物や外構の各部分は、人のスケールに調和するようデザインします。  
(人の尺度)

外観は、川とのつながりを意識してデザインします。室外機などは川側や道から見えないように修景します。  
(湊町と漁村の面影)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P122~123)。適合しているかどうかを確認してください。

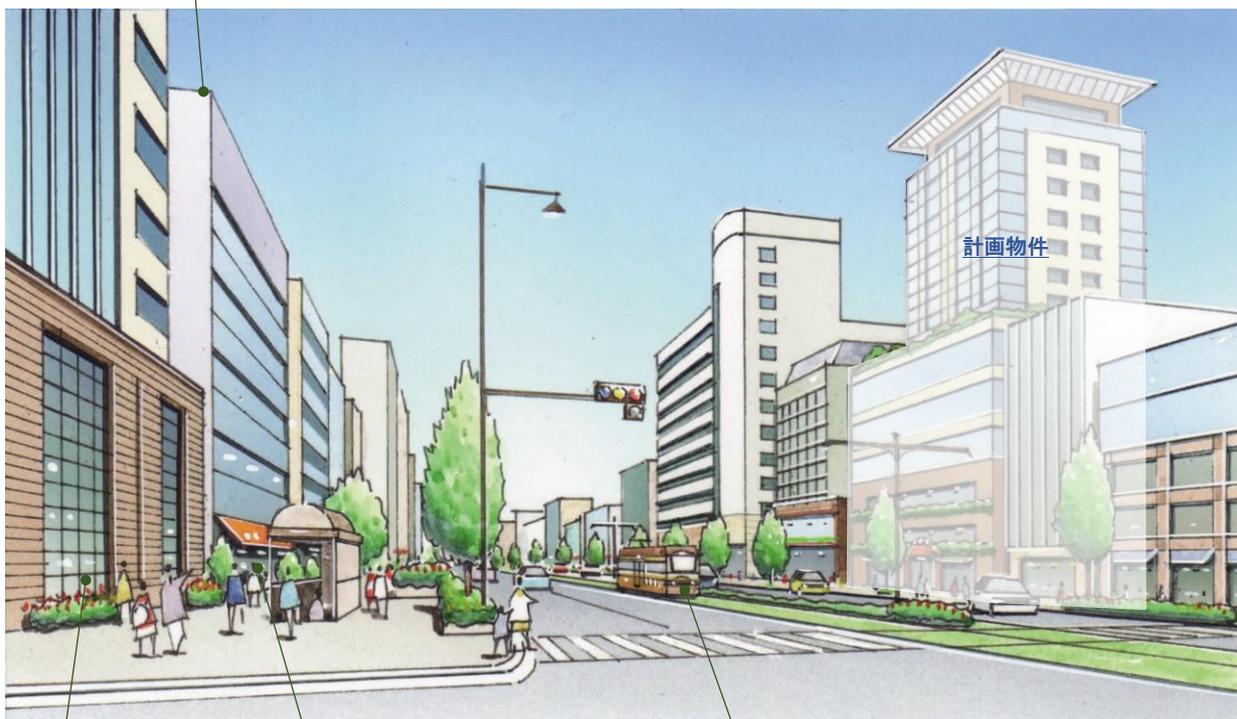
# 6-1. 豊橋駅周辺エリア(豊橋駅前付近) —複合施設の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくらうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

大通りに沿って中高層の建築物が壁面をそろえて建ち並び、**風格のあるまち並み**になっています。

夜になるとビルや街灯に明かりが灯り、昼間とは違った景観が現れます。冬にはクリスマスのイルミネーションなどが飾られ華やかになります。



低層部には店舗が並び、**ガラス越しに内部の賑わい**が感じられます。

ゆったりと歩ける歩道に面して、ショーウィンドウや装飾が設けられ、**歩きたくなる道**になっています。

路面電車が大通りの中央を走り、通りのシンボルになっています。道路施設は、路面電車のイメージに合わせて整備されています。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・豊橋駅前を中心商業地で、「**都市の風格**」を感じさせるビスタ景が形成されています。
- ・大通りには、まちのシンボリックな存在の「**路面電車**」が走り、道路施設は路面電車のイメージにあわせて整備されています。
- ・通り沿いには中高層のビルが建ち並び、低層部の店舗からは、ガラス越しに「**にじみだす賑わい**」が感じられます。また、歩道に向けてショーウィンドウや装飾が設けられ、「**歩きたくなる道**」になっています。
- ・夜になるとビルや街灯に明かりが灯り、「**豊かな夜景**」が見られます。

### エリア内で見られる調和色

外壁

5YR  
8.5/0.5

10YR  
8.5/1

5Y8/2

5YR7/2

10YR  
7/2.5

5Y7/2

5YR6/2

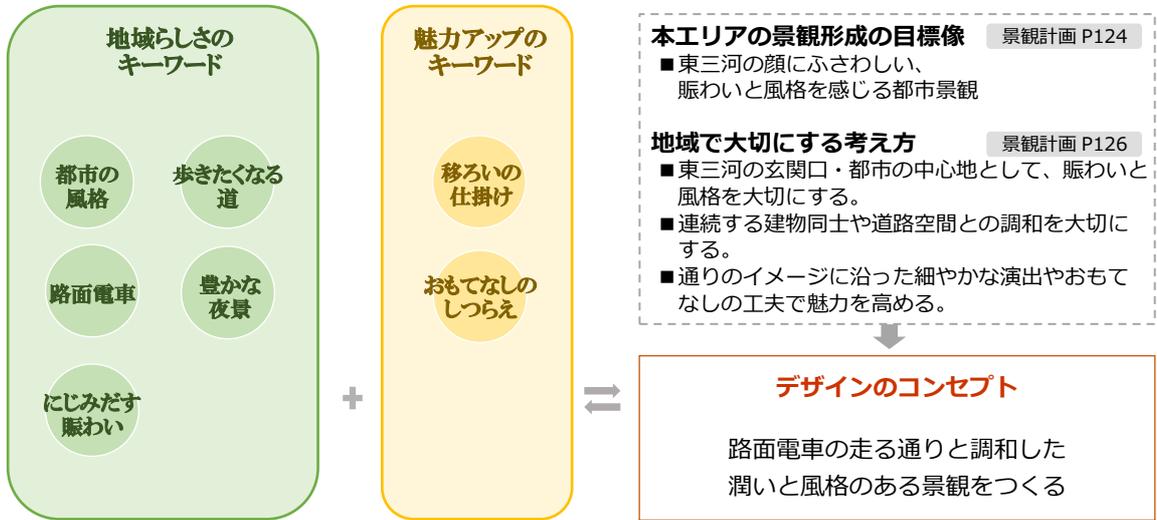
10YR  
6/2.5

5Y6/2.5

※景観計画 (P175) では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

まち並みとの調和を意識し、壁面の位置を周辺のビルに合わせるとともに、高さがそろって見えるように高層部をセットバックします。

また、ビルの頂部を丁寧にデザインし、通りの印象を高めるとともに、屋上や壁面を緑化し潤いを創出します。

(都市の風格)

低層部は、内部の様子を感じられるようガラスを用いて開放的なデザインとします。

また、まち並みや道路施設等から共通的なモチーフを探し出し、外観の意匠に取り入れます。

(歩きたくなる道)  
(にじみだす賑わい)



ビルの壁面や頭頂部を印象深くライトアップし、まちの風格を高めます。低層部では、植栽のライトアップやオープンスペースの足元照明で、魅力的な夜景を演出します。

頭頂部の照明は高揚感を感じる青みがかった光色とし、低層部の照明は、人が心地よく感じるあたたかな光色とし、豊かな夜間景観を創出します。

(都市の風格)  
(豊かな夜景)

屋外広告物は、建築物のデザインに調和させ、低層部のみに表示します。また、店や通りのイメージを高める魅力的なデザインとします。

(都市の風格)

通りに面して緑を飾り、季節の変化や潤いを感じられるようにします。

(移ろいの仕掛け)  
(おもてなしのしつらえ)

低層部は YR 系の色彩で落ち着いた質感のタイル張りとし、路面電車の走る通りに調和させます。また、屋外広告物の色彩は彩度を抑え、路面電車が引き立つようにします。

(路面電車)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P126~127)。適合しているかどうかを確認してください。

## 6-2. 豊橋駅周辺エリア(旧東海道付近) —店舗の例—

### 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

旧東海道沿いには勾配屋根の建築物が見られ、城下町・宿場町であったころの面影が感じられます。

城下町・宿場町の時代の古いまち並みは失われましたが、歴史・文化に配慮したデザインの建築物が見られます。



建築物は壁面をそろえて建ち並び、外壁には暖色系で低彩度の落ち着いた色彩が用いられています。

#### 地域の景観の特徴の整理

- ・戦災により城下町・宿場町の時代の古いまち並みは消失しましたが、旧東海道の位置は継承され、老舗や地名も残り、歴史に配慮したデザインの建築物が見られるなど、「**城下町の記憶**」を感じます。
- ・まち並みの建築物には、勾配屋根や軒の出のある庇など、「**穏やかな屋根**」が見られ、歴史の面影を感じます。
- ・旧街道沿いには、暖色系で低彩度の「**落ち着いた色合い**」の建築物が建ち並び、まちの中心部にありながらも落ち着いた雰囲気があります。

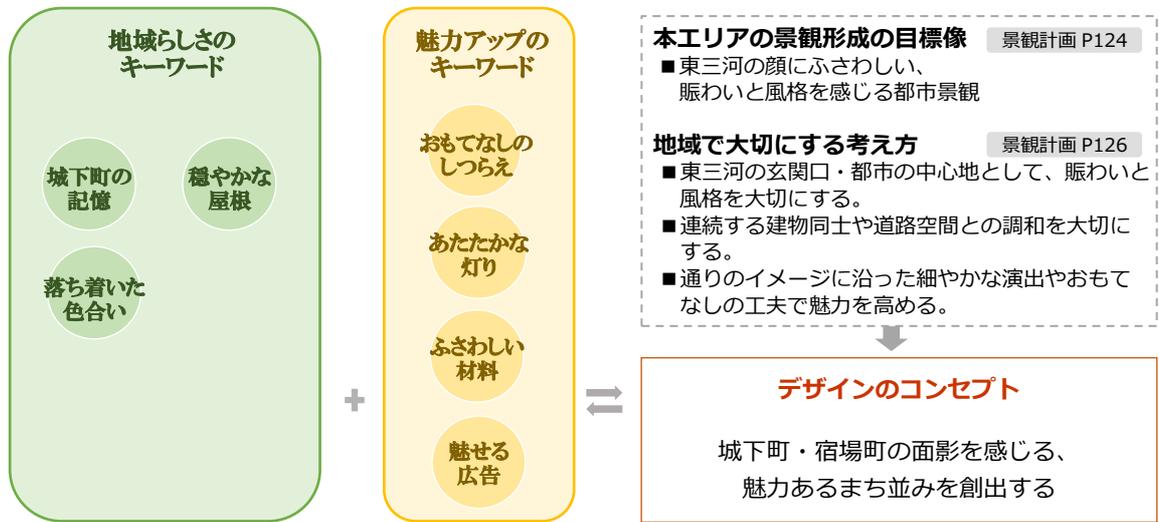
#### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR7.5/1	10YR 7.5/1	2.5Y7.5/1
	5YR6/3	10YR6/3	2.5Y6/2
	5YR4/2	10YR4/2	N2
屋根	10YR 5/1	2.5Y 5/1	5Y 5/0.5
	7.5YR 3/1	2.5Y 3/1	5Y4/0.5
	5YR 2/1	2.5Y 2/1	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

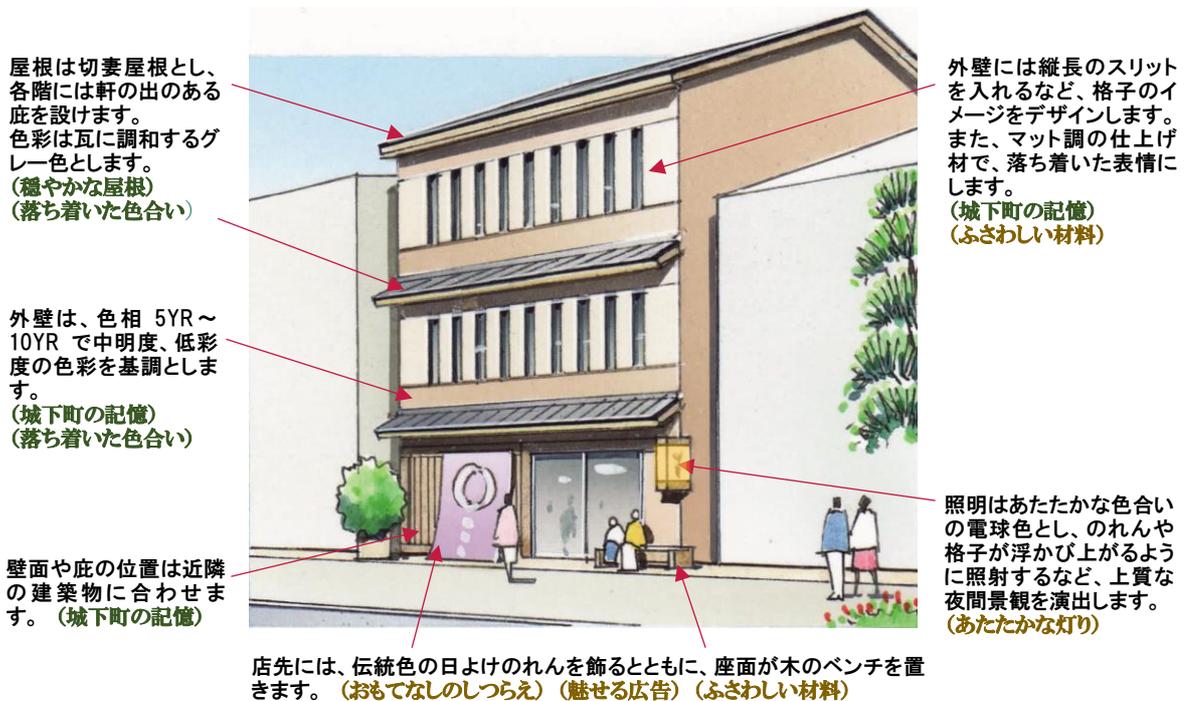
## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。



※景観計画において、景観形成基準を定めています (P126~127)。適合しているかどうかを確認してください。

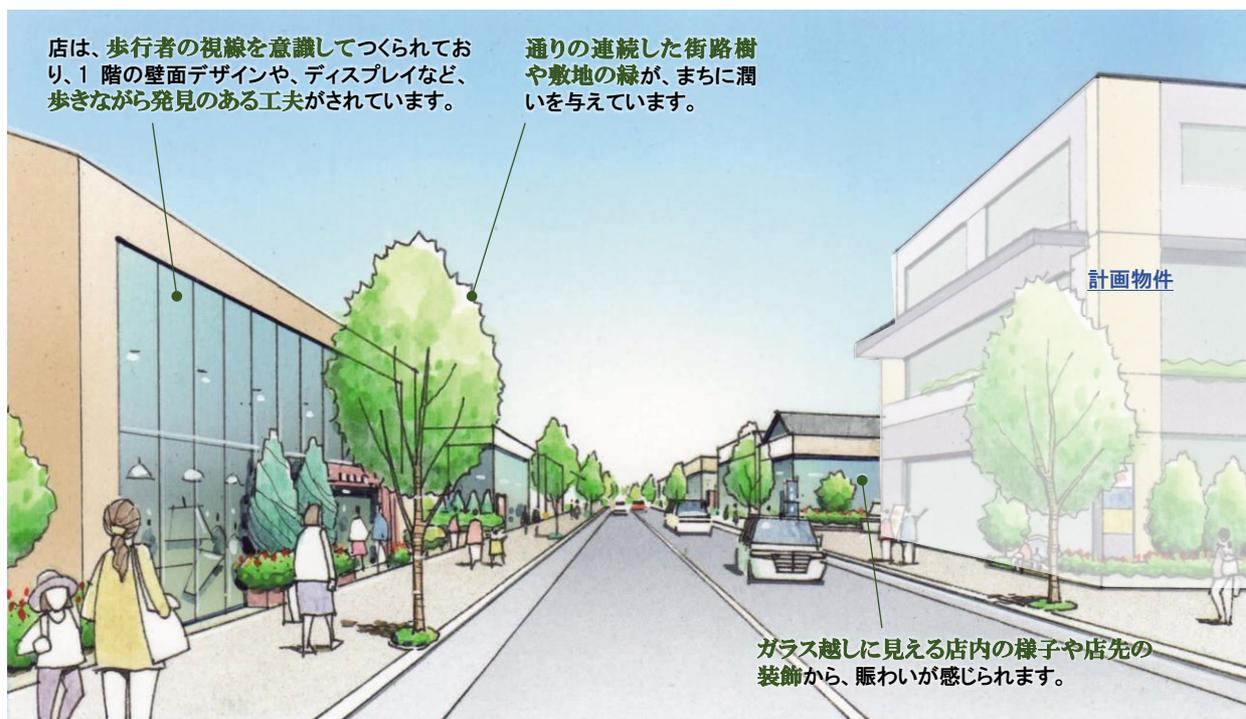
# 7. 商業系エリア —中規模店舗の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

通りに面して建ち並ぶ店舗は、洗練された雰囲気でも互いに調和しつつも、それぞれに個性的なデザインを取り入れ賑わいを生み出しています。

夜になると、建物内からもれる灯りやライトアップの灯りが、陰影のある魅力的な夜景をつくりだします。



### 地域の景観の特徴の整理

- ・沿道には、中規模な店舗や個店が建ち並び、まち並みは洗練された雰囲気です。それぞれの店は、歩行者の視線を意識してファサードや屋外広告物がデザインされており、「賑わいの連なり」を生み出しています。
- ・店先には、街路樹と「つながる緑」が植えられ、通りの潤いやまち並みの魅力を高めています。
- ・それぞれの店からは、ガラス越しに「にじみだす賑わい」が感じられ、ディスプレイや装飾などもプラスして「歩きたくなる道」をつくっています。
- ・夜になると、店から漏れる灯りや建物を照らす照明によって、「豊かな夜景」が見られます。

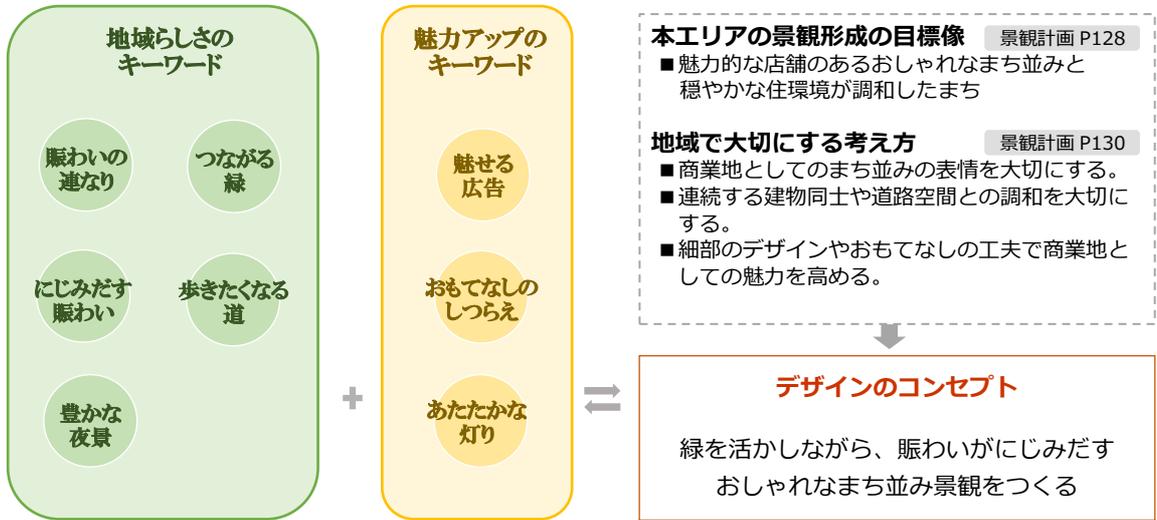
### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR 8.5/0.5	10YR 8.5/1	5Y8/2
	5YR7/2	10YR 7/2.5	5Y7/2
	5YR6/2	10YR 6/2.5	5Y6/2.5

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。



※景観計画において、景観形成基準を定めています (P130~131)。適合しているかどうかを確認してください。

# 8. 沿道系エリア —中規模店舗の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

ゆとりある駐車スペースをもった店舗が通り沿いに建ち並び、楽しい雰囲気を生み出しています。

連続した街路樹や敷地内の緑がまち並みに潤いを与えています。

車での来客が多いため、車窓からの見え方を意識してファサードや屋外広告物がデザインされています。



車での来客を導くように屋外広告物や進入路がデザインされています。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・沿道には中規模な店舗が駐車場を挟んで建ち並び、「**車窓からの眺め**」を意識して、ファサードや屋外広告物がデザインされています。
- ・それぞれの店舗にはゆとりある駐車場が設けられ、来客を「**導く入口**」には、店の個性を表すサインが設けられています。
- ・多くの建築物は、シンプルなデザインながらも適度に個性が表現されており、「**楽しさの連なり**」が感じられます。
- ・敷地には通りに沿って緑が植えられ、街路樹と「**つながる緑**」が、潤いあるまち並み景観を生み出しています。

### エリア内で見られる調和色

外壁

5YR  
8.5/0.5

10YR  
8.5/1

5Y8/2

5YR7/2

10YR  
7/2.5

5Y7/2

5YR6/2

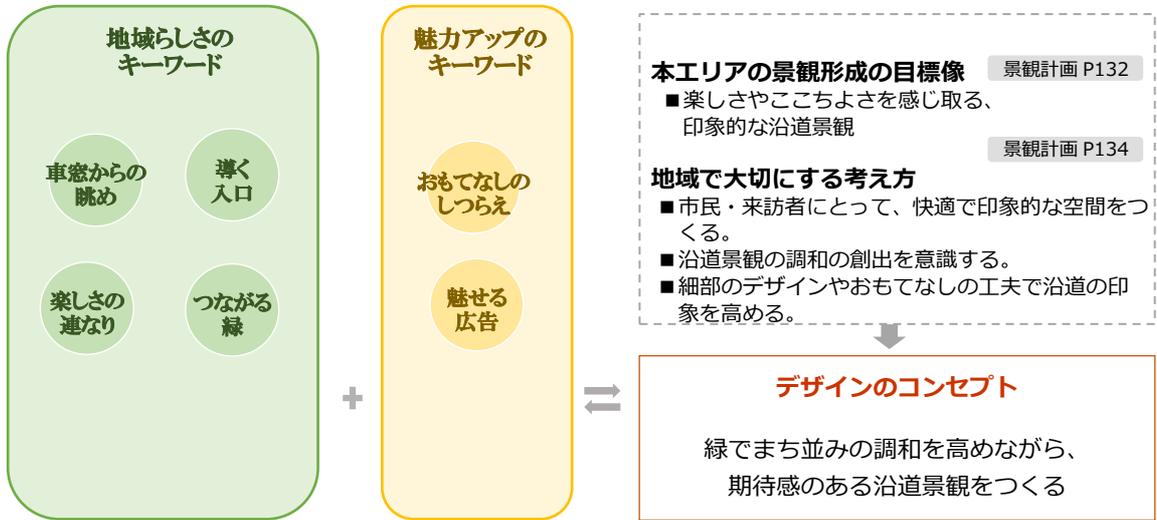
10YR  
6/2.5

5Y6/2.5

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

通り全体が調和して見えるよう、ファサードや屋外広告物は主張しすぎないデザインとし、外観の色彩をまち並みのトーンに合わせます。(車窓からの眺め)(楽しさの連なり)



屋外広告物は、まち並みから突出しない大きさとし、店や通りのイメージを高める魅力的なデザインとします。  
(魅せる広告)

駐車場の進入路は、分かりやすい位置に設け、建築物を引き立てる魅力的なサインで誘導します。  
(導く入口)  
(魅せる広告)

外観は、道路からの視線を意識して丁寧にデザインします。まち並みと調和するようすっきりとした外形にしなが、仕上げの工夫で、魅力的な表情をつくります。また、緑が引き立つよう低彩度の色彩を基調とし、一部にアクセントカラーを採り入れ、期待感を演出します。  
(車窓からの眺め)(楽しさの連なり)

季節の変化を感じる草花や店先の細やかな装飾により、おもてなしの環境を整えます。  
(おもてなしのしつらえ)

道路沿いに植栽し、街路樹と一体感のある潤いある景観を創出します。樹種は街路樹と調和する在来種とし、配置は、街路樹や建築物とのバランスに配慮しながら、車窓から美しく見えるように工夫します。  
(つながる緑)(車窓からの眺め)

※景観計画において、景観形成基準を定めています(P134~135)。適合しているかどうかを確認してください。

# 9. 住居系エリア —共同住宅の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

個々の家々は勾配屋根で、落ち着いたまち並みが形成されています。

外観には、毎日見ても飽きないような、低彩度の落ち着いた色彩が用いられています。

家々は道路から適度に後退し、ゆとりある沿道空間が形成されています。



### 地域の景観の特徴の整理

- ・家々の敷地には、庭木が植えられ、近隣の緑や遠くに見える山の緑とつながっています。こうした「つながる緑」が潤いある住環境を生み出しています。
- ・それぞれの敷地は、低い生垣などの「ゆるやかな境界」でつながっています。
- ・個々の家々は低層の勾配屋根で、「穏やかな屋根」と「落ち着いた色合い」のまち並みが形成されています。また、家並みは、道路から適度に後退し、「退いた壁」により、ゆとりある沿道空間が形成されています。

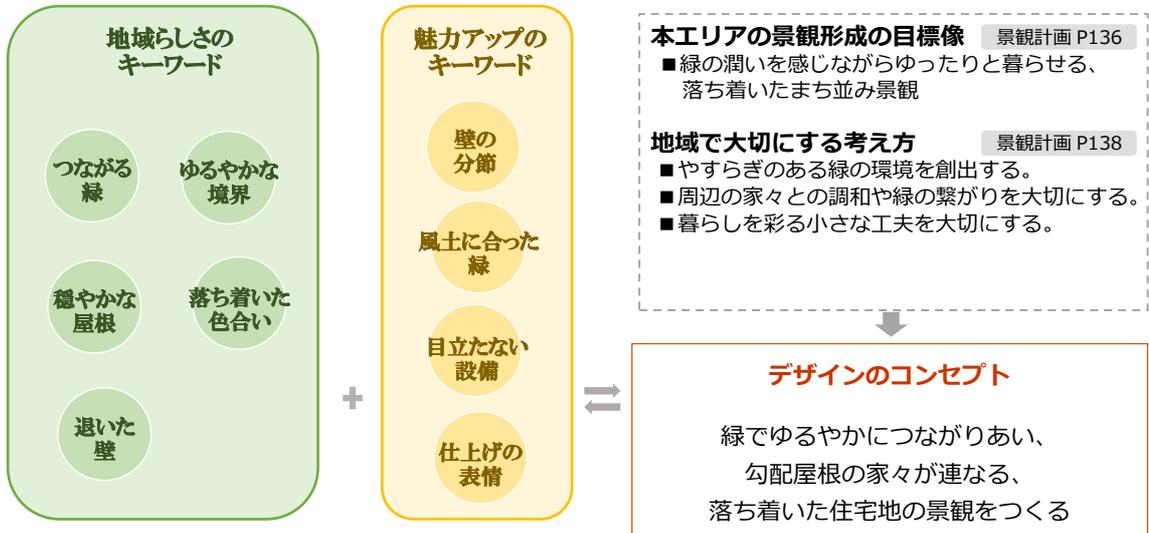
### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR 8.5/0.5	10YR 8.5/1	5Y8/2
	5YR7/2	10YR 7/2.5	5Y7/2
	5YR6/2	10YR 6/2.5	5Y6/2.5
屋根	N5	10YR 5/4	5Y4/0.5
	10YR 4/0.5	7.5YR 3/3	5GY 3/0.5
	10R 3/0.5	7.5YR 2/1	5GY 1/0.5

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

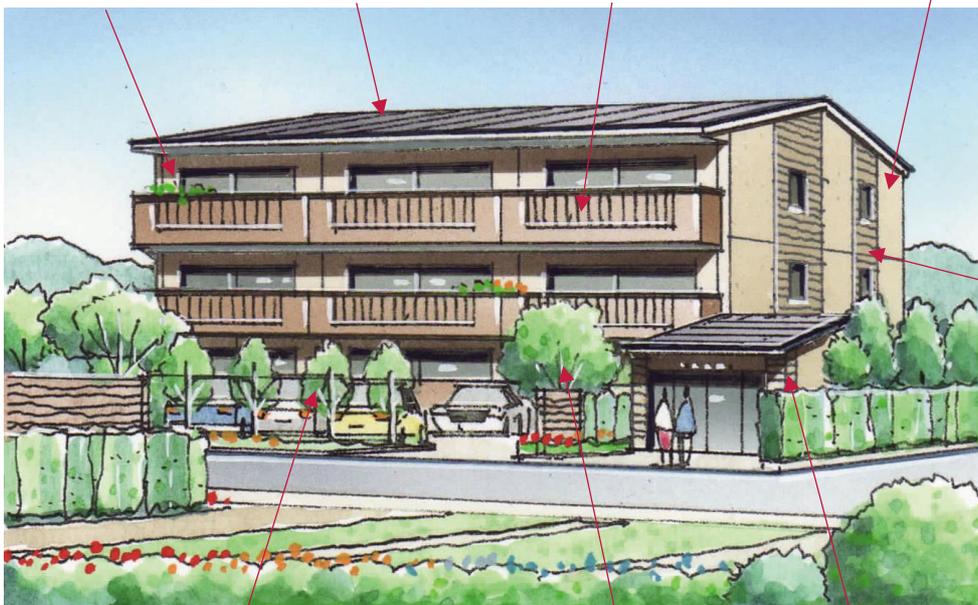
- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

建築物を道路から後退して配置し、周辺のまち並みと調和させます。  
(退いた壁)

屋根は周辺の家々と調和するよう、落ち着いた色彩の勾配屋根とします。  
(穏やかな屋根)

ベランダの手すりは、室外機などが見えないように半透明のガラスとします。  
(目立たない設備)

外壁の色彩は暖色系の低彩度色を用い、まち並みに調和させます。  
(落ち着いた色合い)



道路側に適度な間隔で木々を植え、駐車場の車が見え隠れするようにします。  
(ゆるやかな境界) (つながる緑)

敷地内に花や実のなる木々を植え、季節の変化が感じられる豊かな住環境をつくります。  
(風土に合った緑) (つながる緑)

エントランスまわりの壁と床には、ジェットバーナー仕上げの石材を用い、落ち着いた表情をつくります。  
(仕上げの表情)

外壁は色彩や素材により分節化し、周辺のスケール感に合わせます。  
(壁の分節)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P138~139)。適合しているかどうかを確認してください。

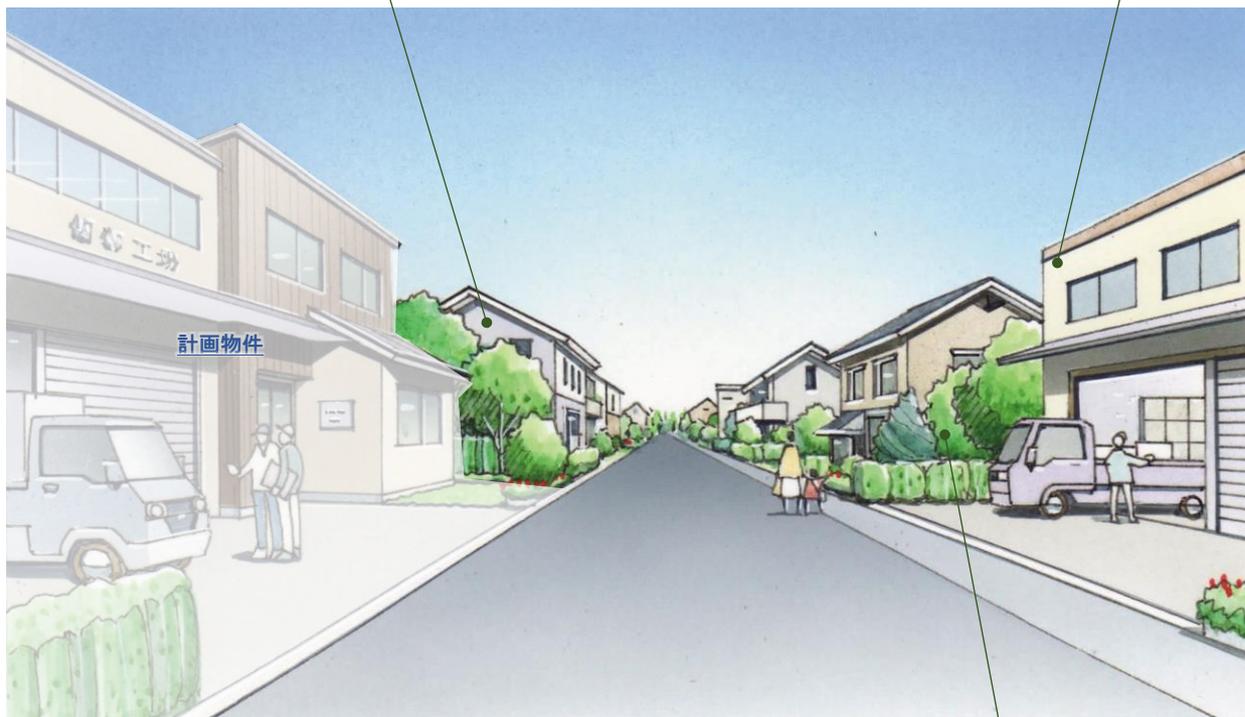
# 10. 近隣工業系エリア —工場の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

周辺の建築物は、毎日見ても飽きないような、**低彩度の落ち着いた色彩や素材**が用いられています。

工場の建築物は、**道路から後退してつくられており、圧迫感をあまり感じません。**



工場の屋外広告物は**控えめな大きさで、社名やロゴマークをかたどったシンプルなデザイン**になっており、周りの住環境と調和しています。

工業系の用途地域ですが住宅が混在したまち並みとなっています。工場と住宅の間には、**適度な空間が設けられたり、緑化されたり**しています。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・工業系の用途地域ですが、工場と住宅が混在したまち並みとなっています。工場は「**隣への緩衝**」として隣地側に空間を設け、緑化をしています。
- ・工場の壁面は道路から後退しており、「**退いた壁**」との間にはゆとりある空間があり、道路側から見ても圧迫感がありません。
- ・それぞれの建築物の外観は、「**穏やかな色合い**」です。また、工場の屋外広告物はシンプルで「**控えめな広告**」で、暮らす人や働く人にとっても穏やかに過ごせるように配慮されています。

### エリア内で見られる調和色

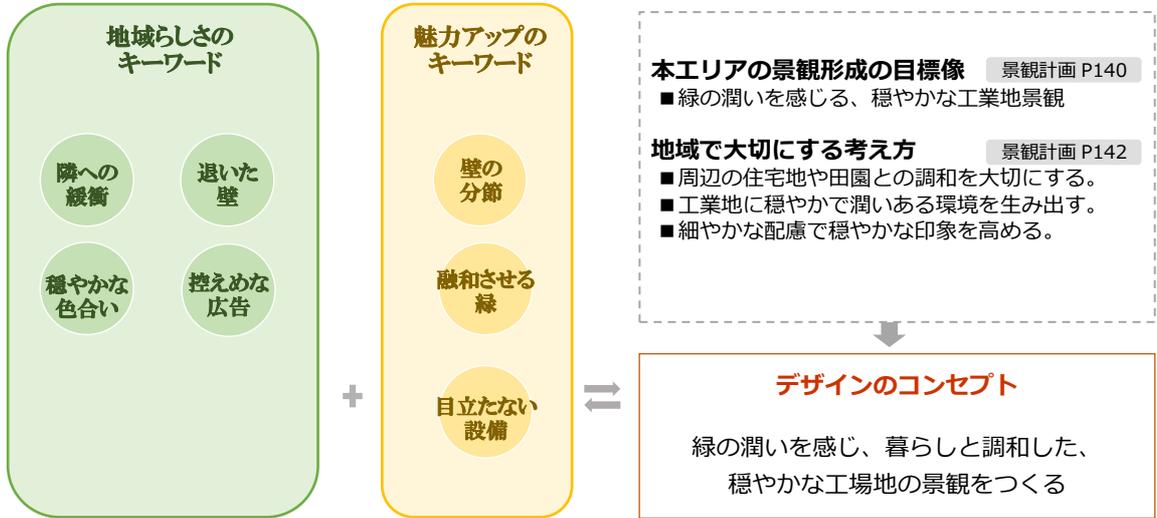
外壁

5YR 8.5/1	10YR 8.5/0.5	5Y8.5/1
5YR8/2	10YR8/2	5Y8/2
5YR7/2	10YR7/2	5Y7/2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。

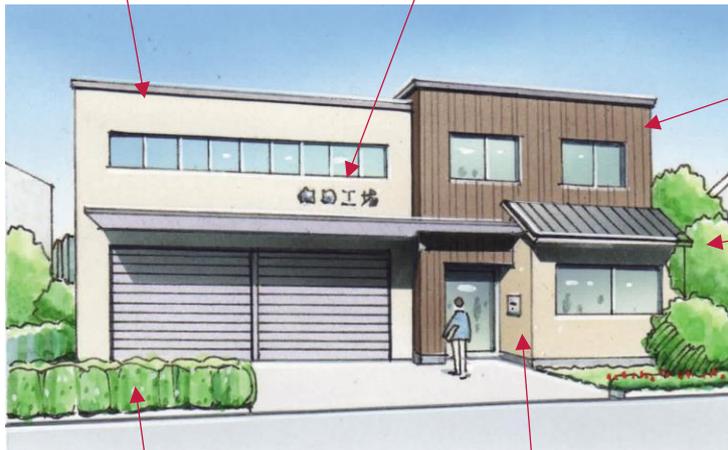


## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

建築物の壁面を道路境界から後退させ、工場の存在感や圧迫感を低減させます。  
(退いた壁)

屋外広告物は控えめな大きさとし、落ち着いた色彩の切り文字でシンプルに表示します。  
(控えめな広告)



外観の色彩は、暖色系の低彩度色を用い、住宅が混在するまち並みに調和させます。  
(穏やかな色合い)

隣地との間に空間を設け、緩衝となるよう緑を植えます。  
(隣への緩衝)

工場の設備や室外機は、道路から見えにくい場所に配置します。  
(目立たない設備)

工場の敷地がまち並みに溶け込んで見えるよう、道路側にも植栽します。樹種は、地域の環境に調和した在来種とします。  
(融和させる緑)

建物の外観は、形態や色彩の工夫で分節化を図り、住宅のスケールに調和させます。また、一部に勾配屋根を採用したり、外壁の素材を住宅に合わせたりすることで、まち並みの調和を図ります。  
(壁の分節)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P142~143)。適合しているかどうかを確認してください。

# 11. 二川宿周辺エリア —3階建ての共同住宅の例—

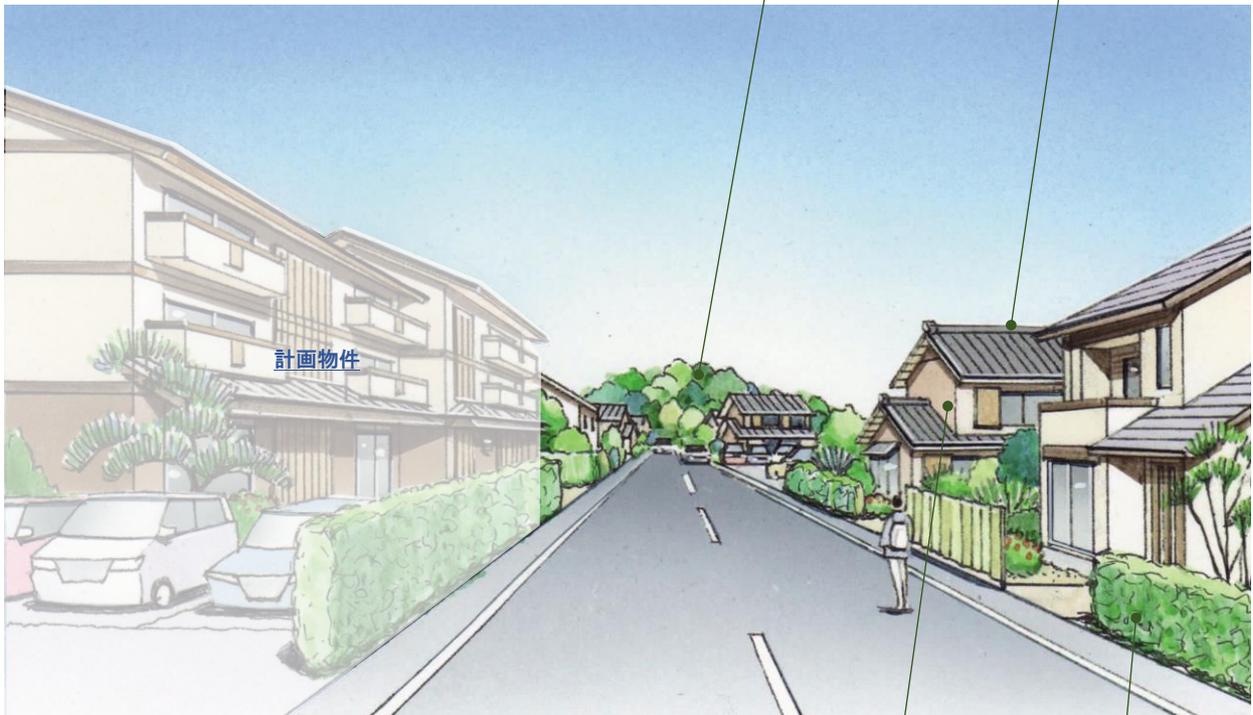
## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

本エリアの中心部である二川宿の旧街道沿いには、今も切妻平入のまち並みが残っています。その周辺に発展してきた住宅地にも、木造瓦葺の古い建築物が残り、歴史ある社寺も点在し、長い歴史を感じます。

通りの先には、由緒ある神社の森が見え、歴史の趣きを感じます。

周辺の家は勾配屋根が多く穏やかな雰囲気です。



家々の外観は、毎日見ても飽きないような、低彩度の落ち着いた色彩が用いられています。

通り沿いには生垣や板塀があり、敷地は道とゆるやかにつながっています。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・本エリアの中心部の二川宿は、東海道 33 番目の宿場町で、今でも本陣や商家などの歴史的建築物や、切妻平入のまち並みが残り、「宿場町の薫り」を感じます。
- ・その周辺に発展してきた住宅地には、歴史ある社寺や古い家屋が点在し、計画地の前面道路の先には、二川宿の「神聖な場所」である神社の森が見えます。
- ・計画地の周辺には、切妻の「穏やかな屋根」や「落ち着いた色合い」の家々があり、通り沿いは、生垣や板塀の「ゆるやかな境界」になっています。

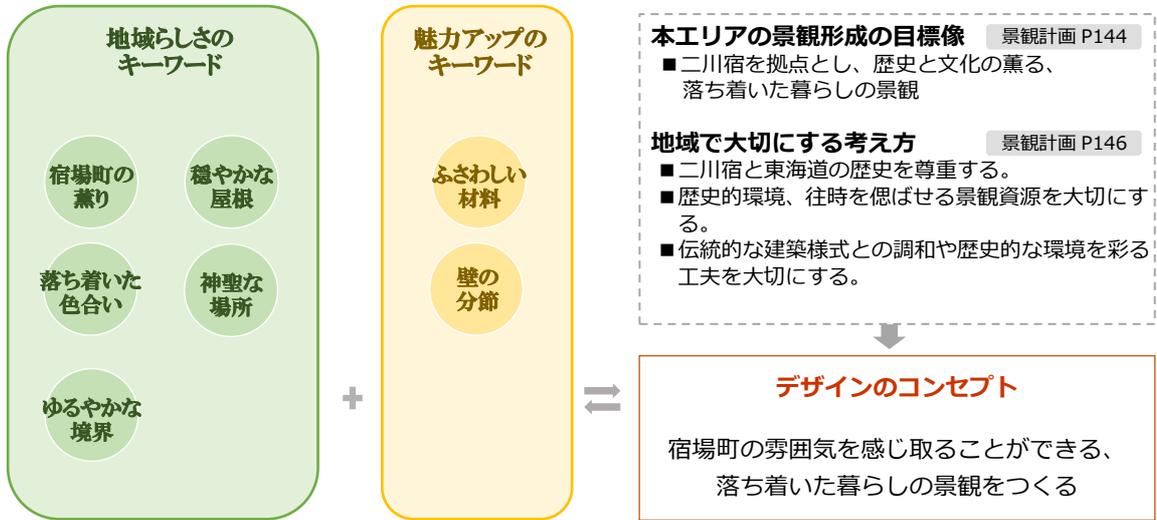
### エリア内で見られる調和色

外壁	5YR7.5/1	10YR 7.5/1	2.5Y7.5/1
	5YR6/3	10YR6/3	2.5Y6/2
	5YR4/2	10YR4/2	N2
屋根	10YR 5/1	2.5Y 5/1	5Y 5/0.5
	7.5YR 3/1	2.5Y 3/1	5Y4/0.5
	5YR 2/1	2.5Y 2/1	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方  
向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

屋根は、和瓦に合わせてグレー色とし、外壁は、暖色系の低彩度色で塗り分け、歴史的な環境に調和させます。  
(宿場町の薫り) (落ち着いた色合い)

屋根は、伝統的な勾配の切妻屋根とし、1階にも軒の出のある屋根を設けます。  
(穏やかな屋根) (宿場町の薫り)



通り沿いに生垣を植えるとともに敷地内に松を植え、通りの先の神社の森との繋がりを生み出します。  
(ゆるやかな境界) (神聖な場所)

外形の凹凸や外装材の使い分け、色の塗り分けにより、視覚的な分節化を図り、まち並みのスケール感に合わせます。  
(壁の分節)

外壁に土壁風の仕上げや木質系の複合材を用いて、歴史的な環境に調和させます。  
(ふさわしい材料) (宿場町の薫り)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P146~147)。適合しているかどうかを確認してください。

# 12. 南部田園エリア —中規模な工場の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

集落の家々は**落ち着いた色合い**で、自然や田園に調和しています。

丘陵上の集落は木々に包まれ、**緑に埋もれる**ようにあります。

遠くの**山並み**がうっすらと見え、眺めの背景になっています。



ゆるやかな起伏のある大地に、パッチワークのような田園がのびやかに広がり、雑木林の緑がアクセントになっています。

道は地形に沿ってゆるやかに曲がっています。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・「ゆるやかな起伏」のある大地に、パッチワークのような田園が広がり、うっすらと見える「遠くの山並み」が背景になっています。
- ・「のびやかな田園」には、地形に沿って「曲がりくねる道」が通り、やわらかな雰囲気を生み出しています。
- ・広々とした大地には集落が点在し、屋敷林や生垣が家々を「**包み込む緑**」となり、落ち着いた暮らしの景観を生み出しています。
- ・集落の家々は、「**落ち着いた色合い**」で、周辺の農地や遠くの山並みに溶け込んでいます。

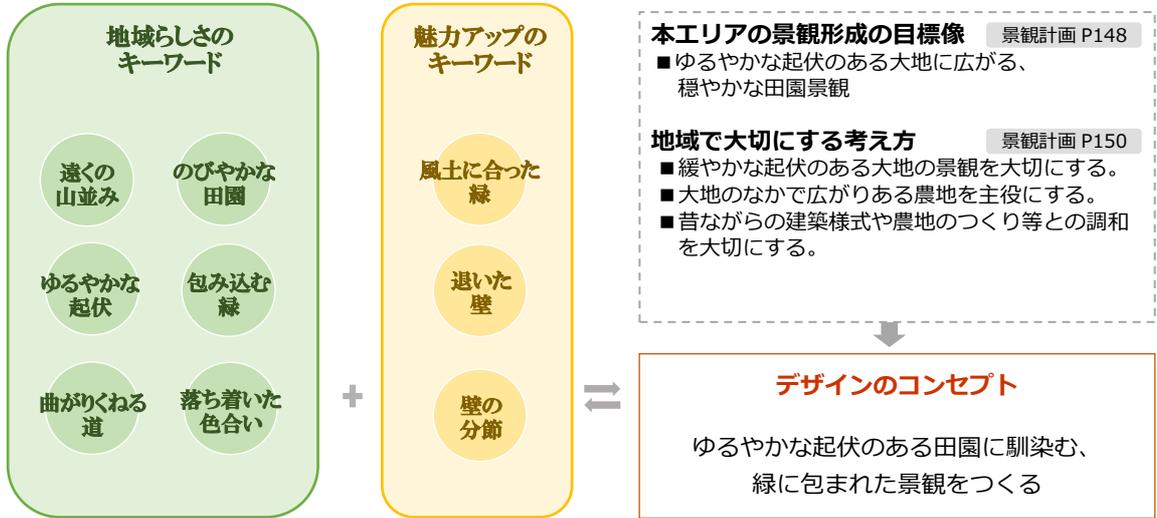
### エリア内で見られる調和色

	エリア内で見られる調和色		
外壁	5YR7.5/1	10YR7.5/1	2.5Y7.5/1
	5YR6/3	10YR6/3	2.5Y6/2
	5YR5/2	10YR5/2.5	2.5Y5/2.5
屋根	2.5YR5/1	7.5YR5/1	5Y5/0.5
	10R3/1	7.5YR3/1	5Y4/0.5
	10R2/1	7.5YR2/1	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

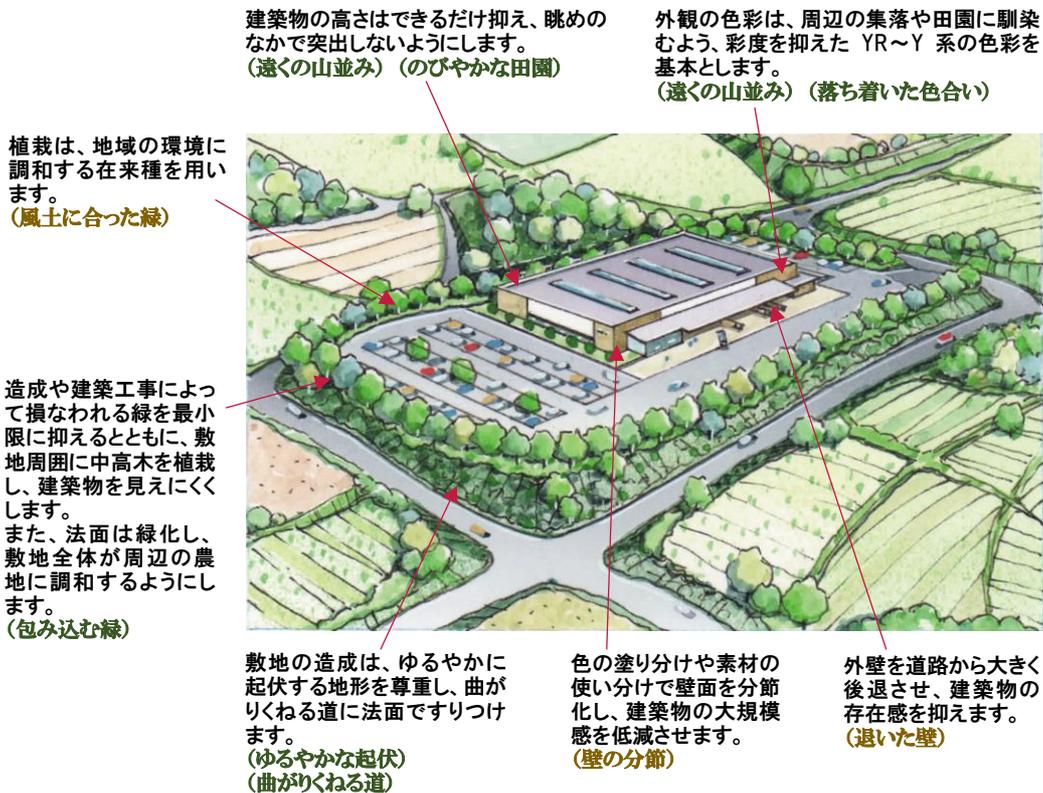
## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。



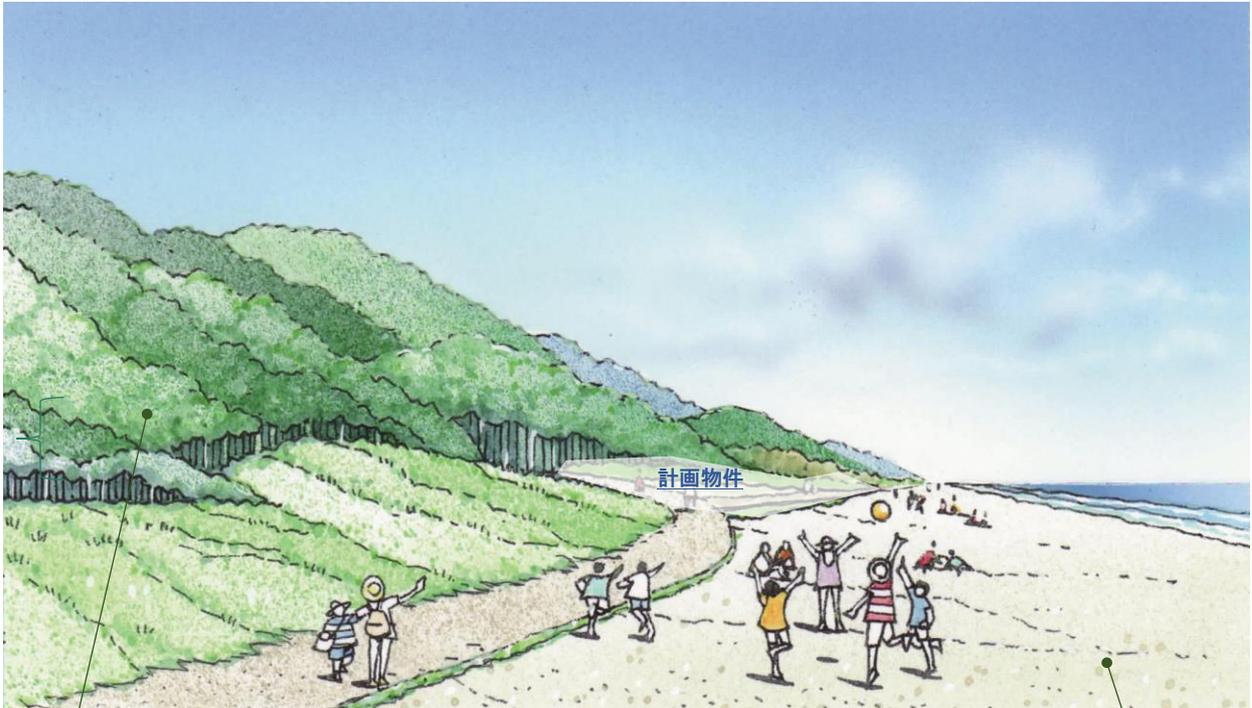
※景観計画において、景観形成基準を定めています (P150~151)。適合しているかどうかを確認してください。

# 13. 表浜海浜エリア—海岸利用者施設の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

砂浜から海にかけて、視界をさえぎるものはなく、大空の向こうに水平線が見えます。



砂浜の背後には、海食崖のある丘陵が続き、常緑広葉樹林の緑がつながっています。

雄大な自然景観のなかで、人工の構造物はあまり見えません。

太平洋に面してウミガメが産卵に訪れる美しい砂浜が続いています。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・太平洋に面して、「ウミガメが訪れる砂浜」と、緑豊かな「海岸林」が延々と続いています。
- ・大空の下には「開放的な水辺」が広がり、海の向こうを眺めると、水平線がゆったりと弧を描いています。
- ・雄大な眺めのなかには、「小さな人工物」が見えますが、目立っていません。

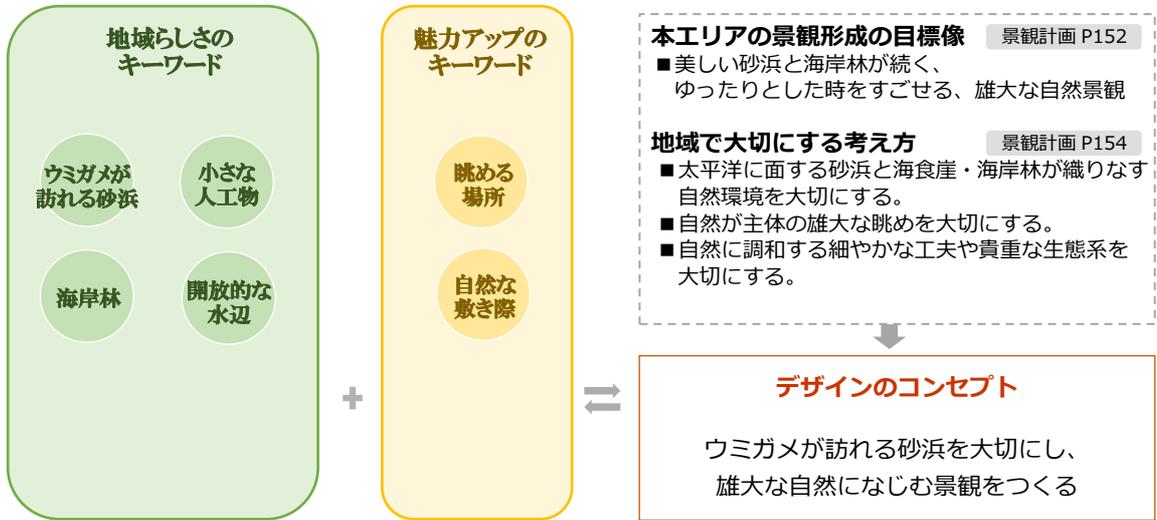
### エリア内で見られる調和色

	5YR 8.5/0.5	10YR 8.5/1	2.5Y 8.5/1
外壁	5YR8/2	10YR8/2	2.5Y8/2
	5YR6/2	10YR6/2	2.5Y 6/2.5
屋根	5YR 6/1	7.5YR 6/1	5Y 6/1
	10R 5/1	7.5YR 5/1	5Y 5/1
	10R 4/1	7.5YR 4/1	5Y4/0.5

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

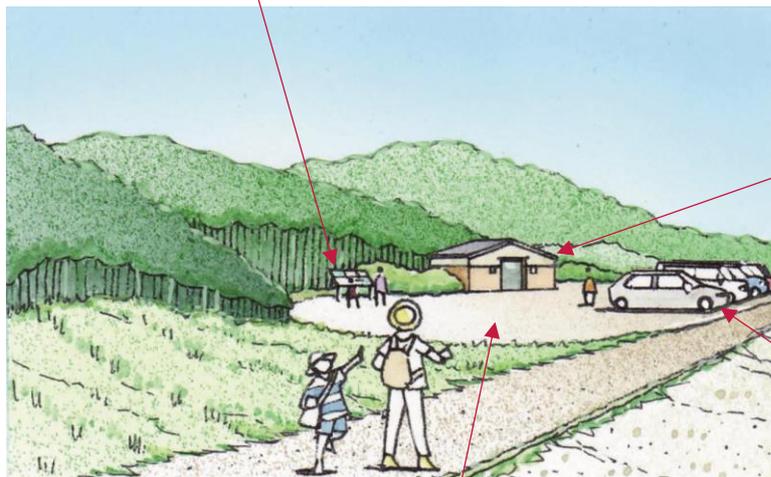
- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

サインは、情報を集約化した上で必要最小限の大きさとし、美しい眺めをさえぎらない位置に配置します。また、本体は自然に調和する色彩とし、表示面は自然環境の保全意識を高める質の高いデザインとします。  
(小さな人工物)



公衆トイレは、自然が主役であることを重視し、必要最小限の大きさのシンプルなデザインとします。屋根は、背景の丘陵に調和する勾配屋根とし、外壁は自然になじむ穏やかな仕上げとします。

色彩は、彩度を抑えたYR～Y系の色彩とし、自然になじませます。また、絵は自然になじまないため、慎みます。

(小さな人工物) (海岸林)  
(ウミガメが訪れる砂浜)

駐車スペースは、砂浜から後退させ、美しい海の景色が眺められるようにします。

(ウミガメが訪れる砂浜)  
(開放的な水辺) (眺める場所)

駐車スペースは、自然の土のままとし、境界ブロックや防護柵などの人工物は基本的に設置しないようにします。やむを得ず人工物を設置する場合は、必要最小限に留め、自然に溶け込む素材や色彩とします。

(ウミガメが訪れる砂浜) (眺める場所) (自然な敷き際)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P154～155)。適合しているかどうかを確認してください。

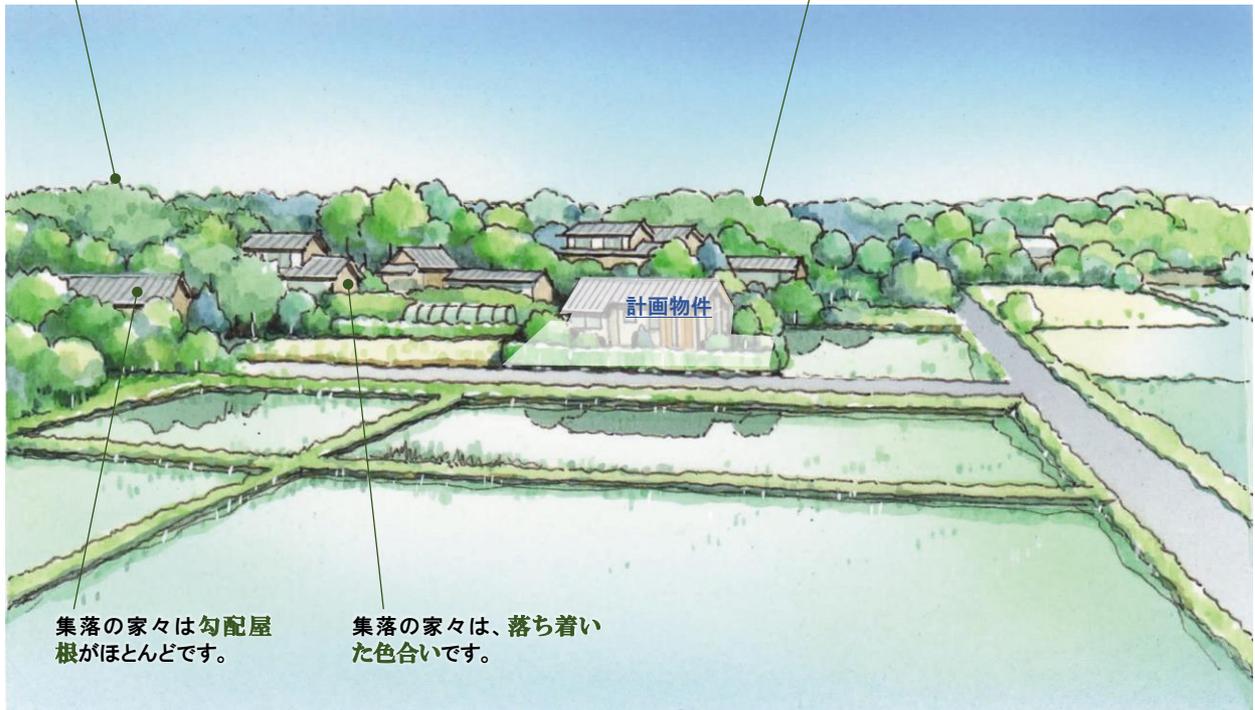
# 14. 表浜沿岸田園エリア —住宅の例—

## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

海食崖の上の台地には常緑広葉樹林が広がり、海側からの潮風や飛砂から内陸部の集落や畑を守っており、家々と田園の背景になっています。

起伏に富んだ土地に田園が広がり、海岸林や緑の茂みがあったところにあります。集落はそうした緑に見え隠れするようがあります。また、生垣が家々を取り巻いています。



集落の家々は勾配屋根がほとんどです。

集落の家々は、落ち着いた色合いです。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・太平洋に面する台地の上に、「海岸林」を背景にした集落があり、起伏のある土地に田園が広がっています。
- ・集落は、緑の茂みや生垣などの「包み込む緑」に見え隠れするようにあります。
- ・集落には、「穏やかな屋根」と「落ち着いた色合い」の家々が集まり、背景の海岸林や周辺の田園に溶け込んでいます。

### エリア内で見られる調和色

外壁

5YR7/2 10YR7/2 2.5Y7/2

5YR6/3 10YR5/3 2.5Y5/2

5YR4/2 10YR 4/2.5 2.5Y 4/2.5

屋根

2.5YR 5/1 7.5YR 5/1 5Y 5/0.5

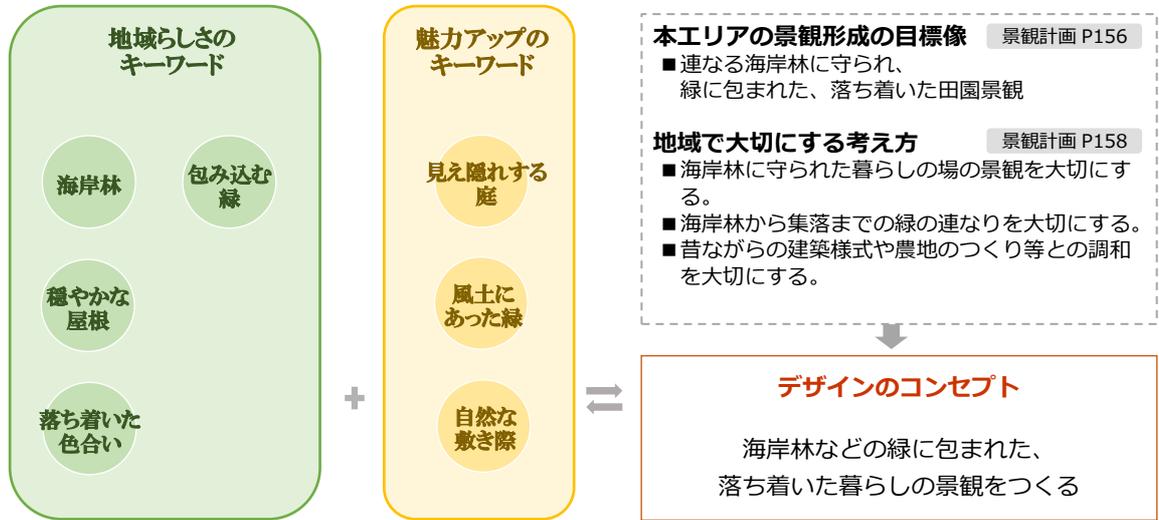
10R 3/1 7.5YR 3/1 5Y4/0.5

10R 2/1 7.5YR 2/1 N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

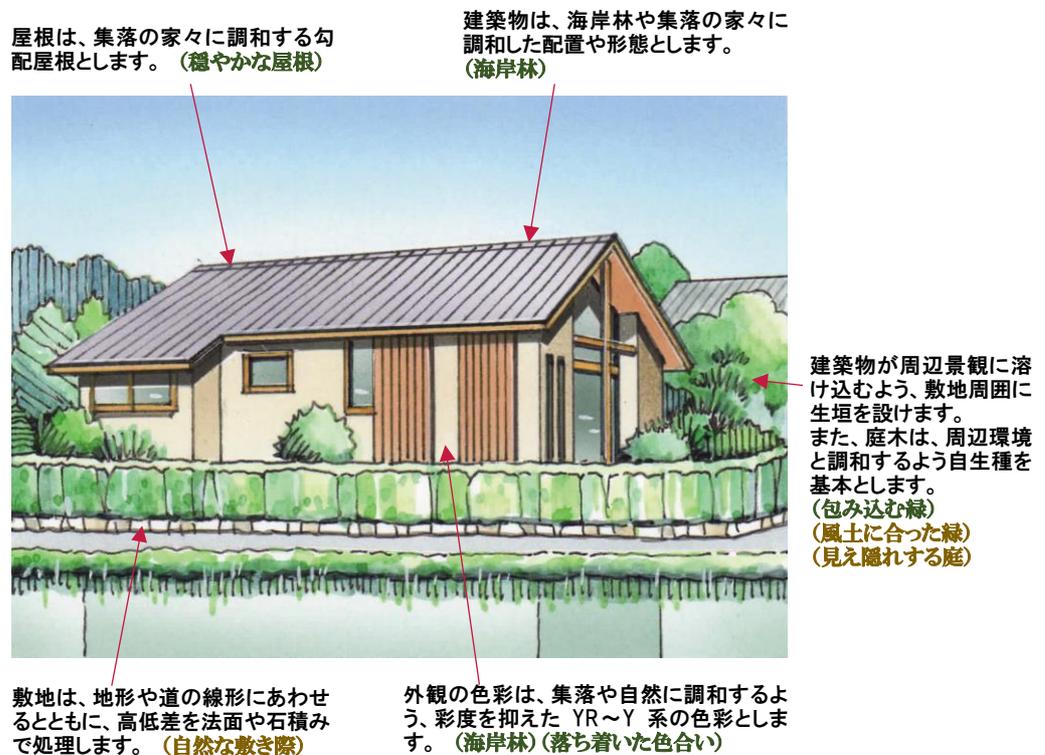
## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。



## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。



※景観計画において、景観形成基準を定めています (P158~159)。適合しているかどうかを確認してください。

# 15. 石巻山眺望保全区域 —中層のマンションの例—

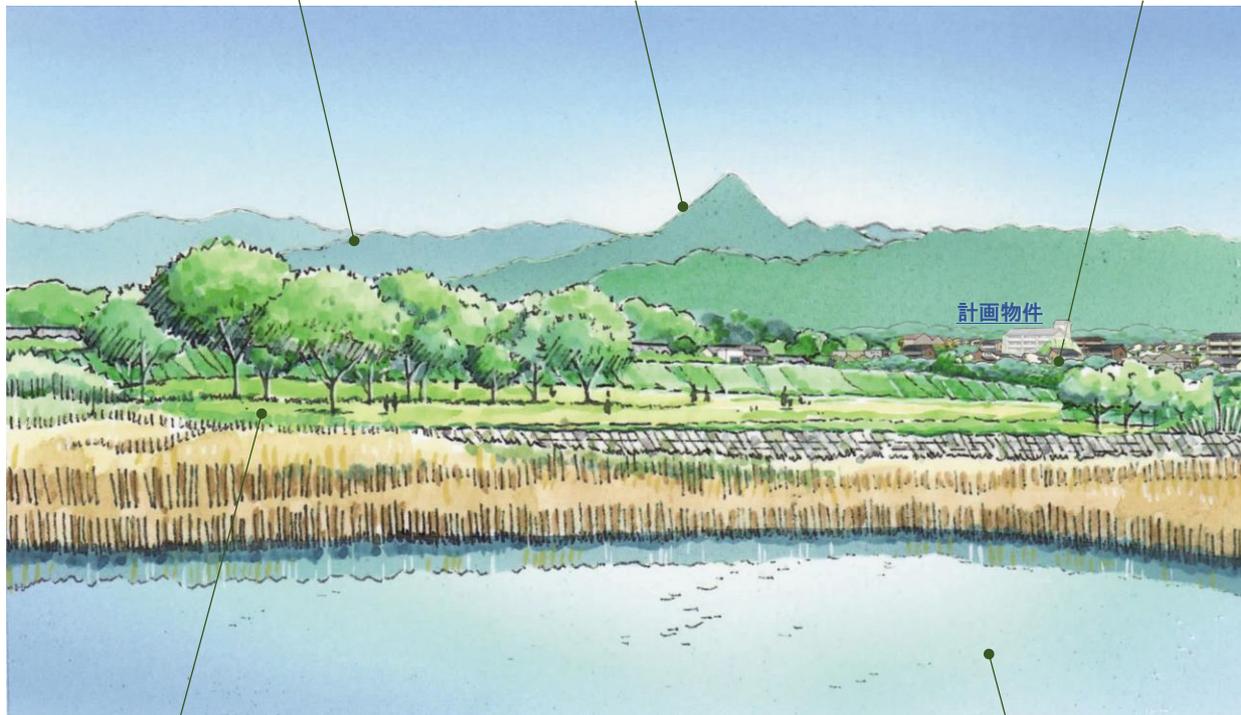
## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

東部丘陵の山並みが、美しいスカイラインを形成しています。

端正な三角形の姿の石巻山が、シンボリックに見えます。

計画地の手前には斜面緑地がつながっており、市街地のまち並みが見え隠れしています。



豊川に沿って、潤いある伸びやかな空間が広がっています。

手前の豊川から遠くの山並みにかけて自然が主体の眺めが広がっています。

豊川が豊かな水をたたえて流れ、潤いを感じさせます。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・「東部丘陵の山並み」のなかで、シンボリックな「石巻山の眺め」がひときわ印象的です。
- ・計画地の手前には山並みと並行するように「斜面緑地」が帯のようにつながっており、その向こうには、市街地のまち並みが見え隠れしています。
- ・手前には、豊川の「潤いある流れ」と「開放的な水辺」の空間が広がっており、遠くの山並みまで、豊かな緑がつながって見えます。

### 区域内で見られる調和色

外壁

5YR7/2	10YR7/2	5Y 7.5/0.5
7.5YR 6/3	10YR6/2	5Y6/2
7.5YR 5/2	10YR4/3	5Y5/2.5

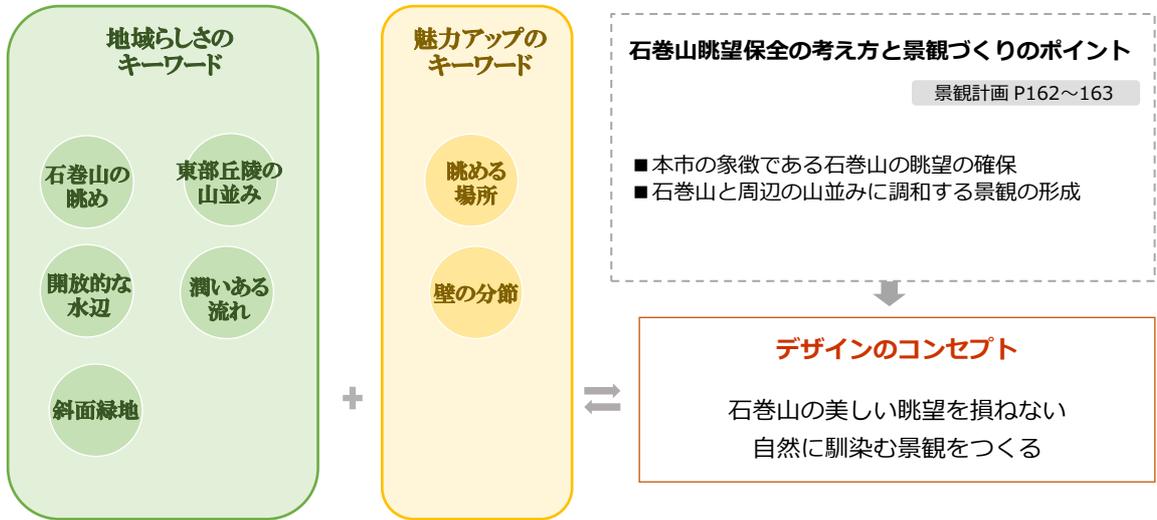
屋根

5YR 5/0.5	7.5YR 5/2	5Y 5/1
10R 3/1	7.5YR 3/2	5Y4/0.5
10YR 3/0.5	7.5YR 2/2	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方  
向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。

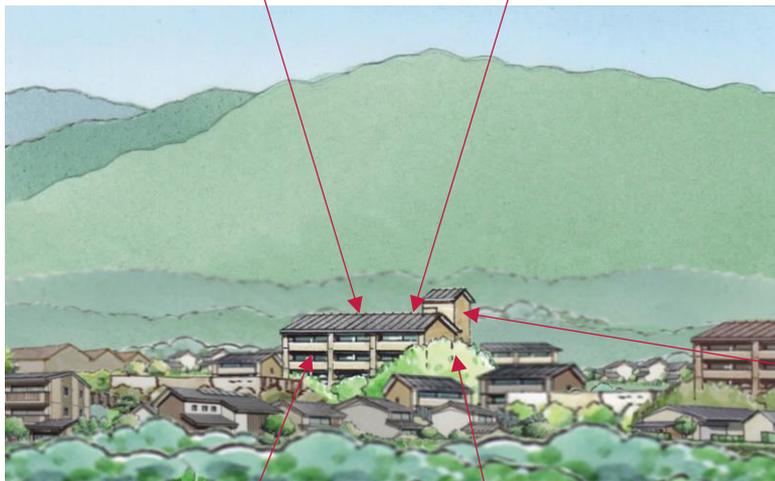


## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

石巻山や東部丘陵の眺めを阻害しないよう、高さをできるだけ抑えます。  
(石巻山の眺め)  
(東部丘陵の山並み)

屋根は、背景の山並みと調和し、手前の開放的な空間との繋がりが生まれるよう勾配屋根とします。また、屋上の設備は目立たないように工夫します。  
(東部丘陵の山並み) (開放的な水辺)



外観の色彩は、水辺から山並みにつながる自然になじむよう、彩度を抑えた YR~Y 系の色彩を基本とし、高明度色は避けます。  
(潤いある流れ) (斜面緑地)  
(東部丘陵の山並み)

主要な視点場からの眺めを意識し、外観に凹凸を設けたり素材を使い分けたりすることで、壁面に陰影や変化を生み出し、背後の山並みや周辺のまち並みになじませます。  
(眺める場所) (壁の分節)

既存の緑や斜面緑地を保全します。また、敷地の周囲はできるだけ緑化し、自然が主体の眺めに溶け込むようにします。  
(潤いある流れ) (斜面緑地)  
(東部丘陵の山並み)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P163)。適合しているかどうかを確認してください。

# 16. 豊川水辺景観育成区域 —3階建て程度の建築物の例—

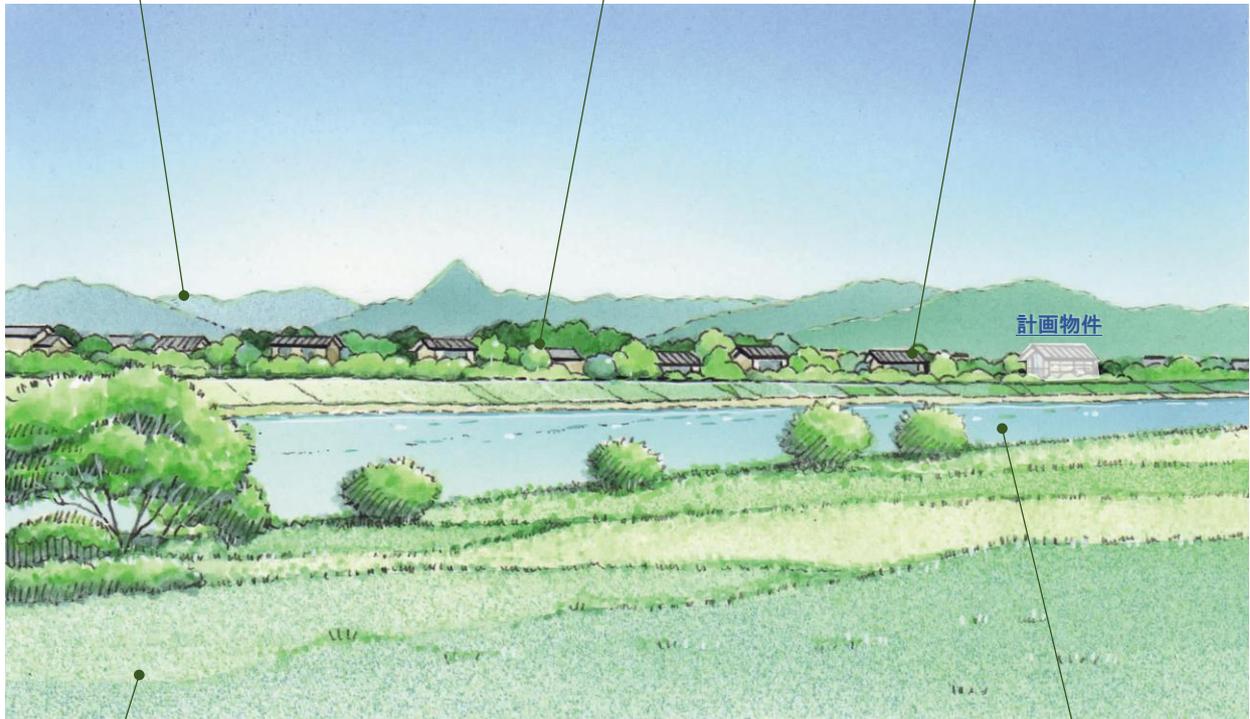
## 1 地域の景観の特徴を読み取る

- ・建築物等をつくろうとしている地域の景観の特徴について、地域の成り立ち、地形、建築物の状況、人々の暮らしなどに着目して整理します。

東部丘陵や本官山の山並みが背景になっており、やすらぎを感じます。

川沿いのまち並みには、緑が建築物と混ざり合うようになり、水辺の自然や背景の山並みとのつながりを生み出しています。

川沿いの建築物は、背景の山並みや堤防の傾斜に調和する勾配屋根になっています。



河川敷には、市民が憩える広場があり、開放的な空間になっています。

豊川が豊かな水をたたえて流れ、潤いを感じます。

### 地域の景観の特徴の整理

- ・豊川の「潤いある流れ」が、都市に安らぎをもたらしています。
- ・「開放的な水辺」から、対岸のまち並みや「遠くの山並み」をゆったりと眺めることができます。
- ・川沿いの建築物は、背景の山並みや水辺の自然に調和する「穏やかな屋根」になっています。
- ・水辺から遠くの山並みまで「つながる緑」が、まち並みと自然を融和させ、心地よい環境をつくりだしています。

### エリア内で見られる調和色

外壁

5YR7/2	10YR7/2	5Y 7.5/0.5
7.5YR 6/3	10YR6/2	5Y6/2
7.5YR 5/2	10YR4/3	5Y5/2.5

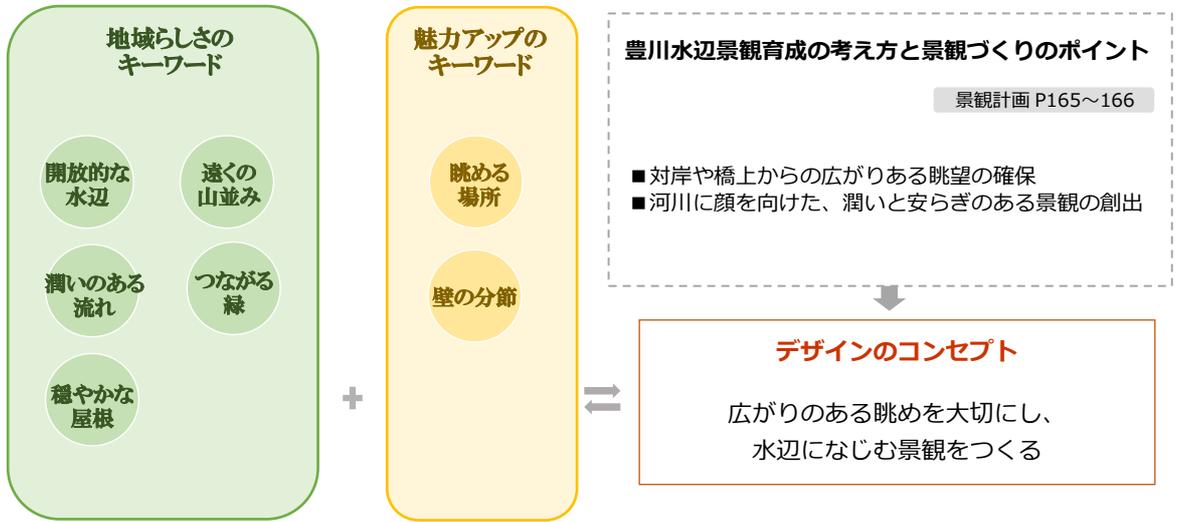
屋根

5YR 5/0.5	7.5YR 5/2	5Y 5/1
10R 3/1	7.5YR 3/2	5Y4/0.5
10YR 3/0.5	7.5YR 2/2	N2

※景観計画（P175）では、エリア別の使用可能色範囲を定めています。外壁等の基調色は、その範囲内とし、上記の調和色を参考に検討してください。

## 2 キーワードを整理して、デザインのコンセプトを考える

- ・「地域らしさのキーワード」(P38)を参考に、読み取った地域の景観の特徴を表すキーワードを整理します。
- ・「魅力アップのキーワード」(P39)を参考に、より魅力ある景観づくりのためのキーワードを整理します。
- ・キーワードをまとめて、景観計画に示したエリアの景観形成の目標像等を考慮しながら、デザインの方向性となる「**デザインのコンセプト**」を考えます。

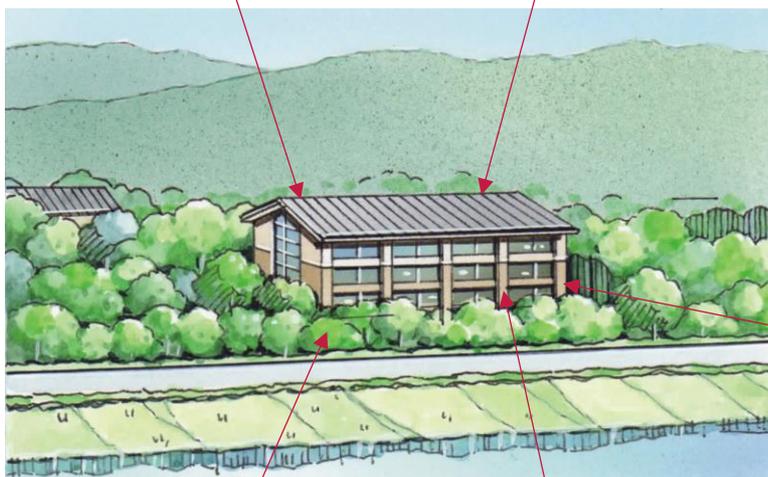


## 3 コンセプトに沿って、キーワードを確認しながらデザインする

- ・②で考えた**デザインのコンセプト**に沿って、具体的なデザインを検討します。
- ・必要に応じて、②に戻ってキーワードを追加します。
- ・具体的な景観配慮は「第1章 景観づくりの基本的な考え方」を参考にしてください。
- ・色彩を検討する際は、左ページの「エリア内で見られる調和色」を参考にしてください。

豊川沿いの開放的な眺めを阻害しないよう、できるだけ高さを抑えます。  
(開放的な水辺) (眺める場所)

屋根は、背景の山並みや周辺の建築物、堤防の傾斜に調和する勾配屋根とします。  
(遠くの山並み) (穏やかな屋根) (開放的な水辺)



敷地まわりの既存樹を保全するとともに、新たに植栽を行い、周辺の自然となじませます。  
(潤いある流れ) (つながる緑)

外観の色彩は、水辺の自然や背景の山並みに調和するよう、彩度を抑えたYR~Y系の色彩とします。  
(潤いある流れ) (遠くの山並み)

建築物は、対岸や堤防道路からの眺めを意識し、豊川に顔を向けてデザインします。外観に凹凸を設けたり、素材や色彩を使い分けたりすることで、壁面に陰影や変化を生み出し、周辺景観になじませます。  
(眺める場所) (壁の分節)

※景観計画において、景観形成基準を定めています (P166)。適合しているかどうかを確認してください。

## ◆ NG 例

周辺景観との調和に配慮しないと、地域全体の魅力を損ねてしまうかもしれません。地域の景観の特徴を読み取り、周辺と調和した景観デザインを考えましょう。

### ■ 景観資源周辺の例

例えば、由緒ある神社の周辺では、落ち着いた環境になじまない形態や、彩度の高い色彩は避けましょう。

地域の歴史や文化を尊重し、伝統行事が映えるようデザインしましょう。



### ■ 住宅地の例

閑静な住宅地では、派手な色彩や奇抜な形態のデザインは避けましょう。

周辺の家々の外観やまち並みの緑の在り方に調和させ、落ち着いた暮らしの景観を守りましょう。



### ■ 商業地の例

例えば、大人の雰囲気のある洗練された商店街では、奇抜な外観や大きく派手な屋外広告物は避けましょう。

通りのイメージに調和した外観デザインとし、一定の節度の範囲で個性を演出し、通り全体の価値を高めましょう。

